

大阪市こども・子育て支援計画（第2期）

令和4年度 個別の取組実施状況一覧表

大阪市

大阪市こども・子育て支援計画（第2期） 個別の取組実施状況 集計

	事業数	令和4年度 進捗状況				基本施策	令和4年度 進捗状況			
		予定通り進捗	一部 予定通り進捗	予定通り進捗 しなかった	－		予定通り進捗	一部 予定通り進捗	予定通り進捗 しなかった	－
基本方向 1 こども・青少年の 「生きる力」を育 成します	90 91	30 30	7 13	18 (16) 18 (16)	35 30	(1) こども・青少年が自立して生きる力の育成	30	7	18 (16)	35
						施策1 乳幼児から生きる力の基礎を着実に育成します	5	0	1 (0)	1
						施策2 こども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組を充実します	7	0	0 (0)	6
						施策3 社会で共に生きていく力を育成します	2	5	2 (2)	5
						施策4 健康や体力を保持増進する力を育成します	4	0	6 (5)	9
						施策5 成長の糧となる多様な体験や学習ができる機会を充実します	6	1	8 (8)	4
						施策6 家庭・学校・地域の連携により教育環境を充実します	6	1	1 (1)	3
						施策7 勤労観・職業観を醸成し、社会的・経済的自立を支援します	0	0	0 (0)	4
						施策8 地域における多様な担い手を育成します	0	0	0 (0)	3
基本方向 2 安心してこどもを 生み、育てられる よう支援する仕組 みや環境を充実し ます	94 94	35 28	3 5	27 (16) 34 (22)	29 27	(1) 安心してこどもを生み、育てることができる仕組みの充実	3	0	8 (6)	3
						施策1 妊娠前から子育て期までの切れ目のない支援を充実します	3	0	8 (6)	2
						施策2 思春期のこどもの健康を守る取組を充実します	0	0	0 (0)	1
						(2) 身近な地域における子育て家庭への支援の充実	6	1	8 (4)	10
						施策1 こどもの健康や安全を守る仕組みを充実します	3	0	2 (0)	1
						施策2 子育て不安を軽減し安心して子育てできる取組を充実します	3	1	6 (4)	9
						(3) 家庭の状況に応じた子育て支援の充実	13	2	4 (3)	10
						施策1 ひとり親家庭への支援を充実します	3	1	2 (1)	5
						施策2 障がいのあるこどもと家庭への支援を充実します	7	1	2 (2)	4
						施策3 長期にわたり療養を必要とするこどもと家庭への支援を充実します	1	0	0 (0)	0
						施策4 外国につながるこどもと家庭への支援を充実します	2	0	0 (0)	1
						(4) 多様なライフスタイルで子育てできる保育サービス等の充実	10	0	4 (3)	2
						施策1 仕事と出産・子育てを共に選択できる保育サービス等を充実します	5	0	3 (2)	1
						施策2 保育の質を向上します	5	0	1 (1)	1
						(5) こどもや子育て家庭にとって安全・安心で快適な生活環境を整備します	3	0	3 (0)	4
						施策1 こどもや子育て家庭にとって安全・安心で快適な生活環境を整備します	3	0	3 (0)	4
基本方向 3 こども・青少年や 子育て家庭のセー フティネットを確 立します	51 51	22 21	5 6	4 (3) 4 (4)	20 20	(1) 虐待の被害からこども・青少年を守る仕組みの充実	6	3	2 (1)	6
						施策1 児童虐待の発生を予防し、早期に発見・対応する仕組みを充実します	6	2	1 (1)	6
						施策2 虐待を受けたこどもへの支援の仕組みを充実します	0	1	1 (0)	0
						(2) 社会的養育を必要とするこども・青少年の養育環境の充実	5	2	0 (0)	10
						施策1 里親・ファミリーホームへの委託等を推進します	3	1	0 (0)	0
						施策2 こどもの権利擁護の取組を推進します	0	1	0 (0)	2
						施策3 家庭支援及びこども・青少年の自立支援の仕組みを充実します	2	0	0 (0)	8
						(3) こどもや青少年が抱える課題を解決する仕組みの充実	11	0	2 (2)	4
						施策1 こどもの貧困対策を推進します	2	0	0 (0)	0
						施策2 いじめや問題行動の未然防止、早期発見のための仕組みを充実します	4	0	0 (0)	2
						施策3 不登校等の問題に適切に対応する仕組みを充実します	1	0	2 (2)	0
						施策4 こども・青少年が犯罪の被害に遭わないための環境をつくります	0	0	0 (0)	2
						施策5 社会的自立に困難を抱える若者を支援する取組を充実します	4	0	0 (0)	0
計	235 236	87 79	15 24	49 (35) 56 (42)	84 77	※進捗状況の考え方について 『予定通り進捗』 : 「令和4年度実績」≥「令和4年度目標・予定」の場合 『一部予定通り進捗』 : 1事業の中で、「令和4年度実績」が「令和4年度目標・予定」の 数値以上の指標と下回る指標が混在している場合 『予定通り進捗しなかった』 : 「令和4年度実績」<「令和4年度目標・予定」の場合、 または「令和4年度実績」欄が「実施なし」「未測定」などの場合 『－』 : 「令和4年度目標・予定」が無い場合				

()は「うち、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの」

[] 内は令和3年度の進捗状況

大阪市子ども・子育て支援計画（第2期） 重点施策として実施する事業の施策指標 集計

	施策指標	令和4年度 施策指標の進捗状況				重点施策	令和4年度 施策指標の進捗状況			
		予定通り進捗	一部 予定通り進捗	予定通り進捗 しなかった	－		予定通り進捗	一部 予定通り進捗	予定通り進捗 しなかった	－
基本方向 1 子ども・青少年 の「生きる力」 を育成します	35 〔 36 〕	15 〔 20 〕	0 3 (3)	10 (10) 9 (9)	10 4 〕	重点施策1 乳幼児期の教育・保育内容の充実	2	0 (0)	0 (0)	5
						重点施策2 学力の向上	5	0 (0)	0 (0)	5
						重点施策3 道徳心・社会性の育成	3	0 (0)	1 (1)	0
						重点施策4 健康や体力の保持増進	3	0 (0)	2 (2)	0
						重点施策5 成長の糧となる多様な体験や学習ができる機会の充実	2	0 (0)	7 (7)	0
基本方向 2 安心して子ども を生み、育てら れるよう支援す る仕組みや環境 を充実します	27 〔 27 〕	16 〔 16 〕	0 0 (0)	10 (6) 11 (7)	1 0 〕	重点施策6 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実	2	0 (0)	6 (4)	0
						重点施策7 ひとり親家庭への支援の充実	3	0 (0)	0 (0)	0
						重点施策8 障がいのある子どもと家庭への支援	4	0 (0)	1 (1)	0
						重点施策9 待機児童を含む利用保留児童の解消	3	0 (0)	1 (0)	0
						重点施策10 安全・安心な保育の提供	4	0 (0)	2 (1)	1
基本方向 3 子ども・青少年 や子育て家庭の セーフティネッ トを確立します	18 〔 18 〕	10 〔 10 〕	0 1 (1)	5 (3) 5 (5)	3 2 〕	重点施策11 児童虐待の発生を予防し、早期に発見・対応する仕組みづくり	5	0 (0)	3 (2)	1
						重点施策12 里親・ファミリーホームへの委託等の家庭的な養育の推進	0	0 (0)	1 (0)	2
						重点施策13 こどもの貧困対策の推進	2	0 (0)	0 (0)	0
						重点施策14 いじめへの対応	1	0 (0)	0 (0)	0
						重点施策15 不登校への対応	1	0 (0)	1 (1)	0
						重点施策16 若者への自立支援	1	0 (0)	0 (0)	0
計	80 〔 81 〕	41 〔 46 〕	0 4 (4)	25 (19) 25 (21)	14 6 〕	※進捗状況の考え方について 『予定通り進捗』：「令和4年度実績」≥「令和4年度目標・予定」の場合 『一部予定通り進捗』：1事業の中で、「令和4年度実績」が「令和4年度目標・予定」の 数値以上の指標と下回る指標が混在している場合 『予定通り進捗しなかった』：「令和4年度実績」<「令和4年度目標・予定」の場合、 または「令和4年度実績」欄が「実施なし」「未測定」などの場合 『－』：「令和4年度目標・予定」が無い場合				

〔 〕は「うち、新型コロナウイルス感染症の影響によるもの」
〔 〕内は令和3年度の進捗状況

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 理由	コロナの影響					

（1）こども・青少年が自立して生きる力の育成

施策1 乳幼児期から生きる力の基礎を着実に育成します 【重点施策1 乳幼児期の教育・保育内容の充実】

1	就学前教育カリキュラムの普及と活用〔重〕	61	○	・就学前教育カリキュラムでの「知・徳・体」の育ちについてのアンケートにおいて、肯定的に回答する市立幼稚園・保育所の保護者の割合	92.7%	—	92.5%	—						2,394	教育委員会事務局 こども青少年局
			○	・就学前教育カリキュラムの活用についてのアンケートにおいて、肯定的に回答する教育・保育施設の割合	公立97.2% 民間71.3%	—	公立98.1% 民間67.3%	—							教育委員会事務局 こども青少年局
				・保護者対象の講演会の開催	3回	講演会を年3回開催予定	3回	予定通り進捗				オンライン配信の導入			教育委員会事務局 こども青少年局
2	公私幼保合同研修・研究〔重〕	61	○	・合同研修において、今後の教育・保育に生かすことができるといった受講者の割合	98.4%	96%以上	96.2%	予定通り進捗						2,390	こども青少年局
				・実施回数	研修：年64回、研究：年31回	研修：年61回、研究：年31回開催予定	研修：年61回、研究：年32回開催	予定通り進捗				オンライン研修の導入			こども青少年局
3	保育士等キャリアアップ研修事業〔重〕	62	○	・募集定員のうち、受講人数の割合	88.7%	92%以上	96.5%	予定通り進捗				オンライン研修の導入		10,309	こども青少年局
				・実施分野数	8分野	8分野の研修を実施	8分野	予定通り進捗							こども青少年局
4	保育所・幼稚園・認定こども園と小学校との連携・継続推進〔重〕	62	○	・保幼小連携・接続推進に関わる事業等の参加者アンケートで「今後の教育・保育に生かすことができるといった」に肯定的回答をした割合	99.3%	—	99.0%	—				オンライン研修の導入		601	こども青少年局
				・実施ブロック数	3ブロック	3ブロックで実施	3回ブロック	予定通り進捗							こども青少年局
5	就学前児童を対象とした施設における読書活動の推進〔重〕	63	○	・保護者対象アンケートにおける「絵本や体験などを通して、言葉が増えてきた」に対する肯定的回答の割合	98%	—	98%	—						1,723	教育委員会事務局
			○	・市立図書館からの配本回数	433回	—	439回	—							教育委員会事務局
				・図書ボランティア派遣回数	246回	—	1427回	—			前年度までコロナの影響により学校からの依頼が減少していたところ、徐々に依頼が平常時に復調してきたため				教育委員会事務局
6	幼児教育・保育の無償化	63		・認可外保育施設教育費給付費として給付した対象人数	245人	408人	246人	予定通り進捗しなかった	当該制度の対象となるための審査に合格した施設数が想定より少なかったため（5施設⇒2施設）					58,945	こども青少年局 福祉局
7	保育士の働き方の改善	63		・保育士の確保数	補助事業実績数 延べ3,683人	3,433人	補助事業実績数 延べ3,673人	予定通り進捗						3,094,821	こども青少年局

基本方向 1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和 3 年度実績	令和 4 年度目標・予定	令和 4 年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4 年度実績が 3 年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組 等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					

施策 2 こども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組を充実します 【重点施策 2 学力の向上】

8	大阪市小学校学力 経年調査、大阪市 中学校統一テス ト、大阪府版チャ レンジテストplus の実施及び結果の 分析〔重〕	66	○	・学校アンケートで、「『大阪市小学校 学力経年調査』の分析結果を、学力向 上に資する組織的な取組に活用する」と いう学校の割合及び「『大阪市中学校統 一テスト』『大阪府版チャレンジテスト plus』（令和元年度より実施）の結果 を、学習指導の改善及び進路指導に活用 する」という学校の割合	小学校：100% 中学校：100%	小学校：100% 中学校：100%	小学校：100% 中学校：100%	予定通り進捗						261,839 (小学校学 力経年調 査) 14,630 (チャレン ジ テ ス t p l u s)	教育委員会事務局	
旧 9	学校力UP支援事 業における支援校 への「学校力UP コラボレーター」 の配置〔重〕	66	○	学校力UP支援校のうち、「小学校学力 経年調査」「チャレンジテスト」におい て国語・算数（数学）の結果が前年度よ り向上した学校の割合	R2－R3比較 (小学校) 国語:87.2% 算数:61.7% (中学校) 国語:87.0% 数学:65.2%	（令和4年3月31日付 事業終了） 「9学力UP支援事業における支援校への「学校UPコラボレーター」の配置」と 「旧10学力向上推進校に対する学力向上指導実践チームの訪問指導の実施」の事業が統合されて 令和4年度から「新10学力向上支援チーム事業」となる。								—	教育委員会事務局	
旧 10	学力向上推進校に 対する学力向上指 導実践チームの訪 問指導の実施 〔重〕	67	○	・学力向上推進校のうち、「小学校学力 経年調査」「チャレンジテスト」で当該 教科・区分の学力が向上した学校の割合	「小学校学力経年調 査」「チャレンジテ スト」における平均 正答率が向上した教 科・区分のあるモニ タ校の割合 82.9%									—	教育委員会事務局	
新10	学力向上支援チー ム事業	67	○	・国語・算数（数学）の平均正答率の対 全国比（全国学力・学習状況調査）	—	（令和7年度） 【小学校】 国語1.00 算数1.00 【中学校】 国語1.00 数学1.00	【小学校】 国語0.98 算数0.98 【中学校】 国語0.96 数学0.97	—					・「支援チーム」による 学校訪問を行い教員の授 業力向上を図る。 ・学力に課題のある全て の児童生徒へのきめ細や かで継続した指導・支援 を行う ・R3年度の実績値より 上回る実績となっている。 （参考R3実績） 【小学校】 国語0.97 算数0.98 【中学校】 国語0.94 数学0.96	554,000	教育委員会事務局	
11	校長裁量拡大特例 校の設置〔重〕	67	○	・校長裁量拡大特例校のうち、学校の実 態に応じて設定した学力向上にかかる年 度目標を達成した学校の割合	（令和3年3月31日付 事業終了）						—					教育委員会事務局
			○	・令和元年度「全国学力・学習状況調 査」の全教科・区分の 対全国比 ・負担軽減を感じる教職員の割合が50% 以上の学校の割合											教育委員会事務局	
12	放課後を活用した 学習機会の支援 〔重〕	68	○	・業績目標（各区が事業ごとに設定）を 達成した区	100%	100%	100%	予定通り進捗							教育委員会事務局 こども青少年局	
			○	・全小中学校の学校アンケートで「学習 教材データ配信の活用は、児童生徒の学 習への意欲の向上や学力の向上等に効果 が見られた」とする旨の回答の割合	98.1%	95%	97.3%	予定通り進捗						105,610	教育委員会事務局 こども青少年局	

基本方向１ こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和３年度実績	令和４年度目標・予定	令和４年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （４年度実績が３年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響	『一部予定通り進捗』の場合の理由					
13	学校力ＵＰベース事業（習熟度別少人数授業など個に応じた指導の充実）の実施〔重〕	68	○	・習熟度別少人数授業の児童生徒アンケートで「授業が分かる」とする旨の回答の割合	①理解度…国語（事前83%→事後88%）算数（事前83%→事後88%）満足度…国語（事前78%→事後83%）算数（事前77%→事後82%） ②理解度…国語（事前82%→事後86%）数学（事前76%→事後80%）英語（事前75%→事後80%）満足度…国語（事前78%→事後82%）数学（事前71%→事後76%）英語（事前73%→事後78%）	①小学生の算数及びその他の教科理解度・満足度の向上 ②中学生の数学及びその他の教科（国・社・英）の理解度・満足度の向上	①理解度…算数（99.5%）その他（99.2%）満足度…算数（99.0%）その他（100%） ②理解度…数学（事前77%→事後81%）その他（事前81%→事後84%）満足度…数学（事前73%→事後77%）その他（事前78%→事後82%）	予定通り進捗						1,475,515	教育委員会事務局
			○	・学校力ＵＰベース事業コーディネーター研修における参加者の満足度	小学校 99% 中学校 92%	—	—	—							教育委員会事務局
14	「主体的・対話的で深い学び」（アクティブ・ラーニング）の推進〔重〕	69	○	・全小中学校の学校アンケートで「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」とする旨の回答の割合	小学校：98.2% 中学校：96.9%	（令和４年３月31日付 事業終了）		—						—	教育委員会事務局
15	理数教育の充実〔重〕	69	○	・研修に参加した教員の学級の児童生徒に対するアンケートで理科の「観察・実験は好き」とする旨の回答の割合	小学校90.9% 中学校85.9%	小学校90%以上	小学校91.9%	予定通り進捗				希望校に理科特別授業を実施。理科補助員を50校に配置。	新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修が実施できなかったため、書面開催とした。	—	教育委員会事務局
16	土曜授業の実施〔重〕	69	○	・土曜授業の実施状況について、学校協議会等での聴取による「家庭や地域との連携のもと開かれた教育活動の充実をはかることができた」とする旨の回答の割合	（実施なし）	—	—	—				代休日を設定しない土曜授業の実施は、学校長の裁量で行うようになったため。		—	教育委員会事務局
17	ブロック化による学校支援事業	70		・ブロック化による学校支援事業により実施した取組の目標を達成した学校の割合	90.0%	90%以上	90.8%	予定通り進捗						324,356	教育委員会事務局
18	スマートスクール次世代学校支援事業	70		—	—	—	—	—				いじめ・不登校などの未然防止、早期発見、迅速な対応等安全安心面にかかる必要機能の整備として、いじめアンケート（令和３年５月から）、相談申告（令和３年10月からの）のオンライン化を実施		617,901	教育委員会事務局
19	英語教育の強化	70		・中学校卒業段階で、CEFR A1レベル以上の英語力を有する中学生の割合	52.6%	53.4%	55.8%	予定通り進捗					授業改善のための教員研修等をオンラインやオンデマンドで実施した。	648,333	教育委員会事務局
20	ICT学習環境を活用した教育の推進	71		—	—	—	—	—				・令和２年度に整備完了した１人１台の学習用端末を効果的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びを推進するため、ICT教育アシスタントによる支援を実施		3,861,445	教育委員会事務局
21	多文化共生教育の推進	71		・国際クラブ設置校において、国際理解教育及び多文化共生教育の取組に対して肯定的な回答	88%	85%	97%	予定通り進捗						42,000	教育委員会事務局

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由					

施策3 社会で共に生きていく力を育成します 【重点施策3 道徳心・社会性の育成】

22	道徳教育の推進 〔重〕	73	○	・教育センター道徳教育事業評価アンケート（1月）より、道徳教育推進教師研修・校長研修（道徳教育）を受講して「自校の取組に活用できた」と回答する小・中学校の割合	90%	95%以上	85.4%	予定通り進捗しなかった	○	コロナ禍で集合研修ができず、オンライン研修や研修回数が減少となり、取組の活用が十分にできなかったため。		オンラインによる研修を実施した。	2,000	教育委員会事務局
				①全体計画の作成 ②年間指導計画の作成 ③全体計画別様の作成	①100% ②100% ③100%	①全体計画の作成 ②年間指導計画の作成 ③全体計画別様の作成	①100% ②100% ③100%	予定通り進捗						教育委員会事務局
23	キャリア教育の充実 〔重〕	73	○	・教員研修参加者が「研修成果を今後の取組に生かす」と回答した割合	96%	95%以上	97%	予定通り進捗				新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる研修となった。	2,423	教育委員会事務局
				①職場体験学習等実施校数 ②キャリア教育推進事業内のインターンシップ保険を活用	①130校中11校 ②130校中66校が活用（8,074名）	①130校全校で実施 ②130校全校で活用	①129校中50校 ②129校中70校が活用（9,137名）	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、職場体験を実施するにあたり企業との連携が困難であったため。	徐々に学習活動における制限が緩和されたことにより部分的に職場体験活動を実施することができた。	職場体験活動は一部分困難であったが、職業見学、職業講話を行ったを実施している。（130校中114校）		教育委員会事務局
24	特別支援教育の充実 〔重〕	74	○	・学校園に対する調査における、研修等を通じて、発達障がいを含む障がいの理解が進んだとする学校園の割合	98.2%	90%以上	96.2%	予定通り進捗					845,895	教育委員会事務局
			○	・学校園に対する調査における、巡回相談等を活用して、校園内体制の充実が図れたとする学校園の割合	90.6%	90.5%	91.4%	予定通り進捗				オンラインによる指導助言を実施した。		教育委員会事務局
				①特別支援教育サポーター配置 ②インクルーシブ教育推進スタッフ配置 ③巡回相談体制の強化 ④ 医療的ケアの必要な児童生徒が在籍する小・中学校への看護師常時配置 ⑤多様な学びの場における通学支援の拡充（特別支援学校） ⑥インクルーシブ教育推進室の機能充実	①小学校493名、中学校125名 ②小学校14名、中学校5名 ③巡回アドバイザー4領域体制による実施548回 ④52校 ⑤ — ⑥研修の実施161回	①小学校493名、中学校125名 ②小学校11名、中学校4名 ③巡回アドバイザー4領域体制による実施 ④52校 ⑤ — ⑥研修の実施200回	①小学校、493名、中学校125名 ②小学校11名、中学校4名 ③巡回アドバイザー4領域体制による実施591回 ④59校 ⑤ — ⑥研修の実施170回	一部予定通り進捗	○	⑥新型コロナウイルス感染症対策によりオンライン研修が以前より増え、会場的人数制限がなくなったことにより研修の実施回数が減ったため。	⑥研修内容の精選、研修形態の変更、研修時間の縮小等の感染症対策を実施した。	⑥受講対象者や研修内容に応じて研修形態（集合・オンライン・オンデマンド）を工夫した。		教育委員会事務局
25	人権を尊重する教育の推進	74		・人権教育啓発推進計画実施計画の提出率	100%	—	100%	—					240	教育委員会事務局
26	音楽・吹奏楽に親しむ機会の創出	75		・事業参加者に対するアンケート満足度	吹奏楽合同音楽鑑賞会100% 吹奏楽講習会100%	吹奏楽合同音楽鑑賞会80%以上 吹奏楽講習会80%以上	吹奏楽合同音楽鑑賞会97% 吹奏楽講習会生徒満足度98% 教員満足度93%	予定通り進捗					26,633	教育委員会事務局
27	信太山青少年野外活動センター	75		・施設の延べ利用者数	33,245人	74,400人	59,585人	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症の影響等による施設利用者の減等	学校団体利用のキャンプサイト等日帰り利用の増等	学校団体利用（宿泊）の減をキャンプサイト等日帰り利用を増やすなど施設利用者数の改善を図る。	60,974	こども青少年局
28	環境を守る意識の醸成	75		【小学校における環境教育について】 ①小学校において、4つの分野における環境教育を実施 【おおさか環境科の活用について】 ②副読本「おおさか環境科」を活用	①「自然・命」：197校（68.6%）、「エネルギー・温暖化」：199校（69.3%）、「ごみ・資源」：237校（82.6%）、「共生」：140校（48.8%） ②「おおさか環境科」使用率：小学校90.1%、中学校74.0%	① — ②「おおさか環境科」使用率：小学校97%以上、中学校92%以上	①「自然・命」：189校（66.8%）、「エネルギー・温暖化」：203校（71.7%）、「ごみ・資源」：228校（80.6%）、「共生」：133校（47.0%） ②「おおさか環境科」使用率：小学校93.3%、中学校70.0%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症などによる学校休業に起因する各教科の時数不足により、環境教育を実施する機会が減少していることが考えられる。		デジタルブック化により対応	②5,204	教育委員会事務局 環境局

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組 等	コロナの影響が続く中で 工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しな かった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 コロナ の影響 『一部予定通り進捗』の 場合の理由					
29	小学校向け出前授業（体験学習）	76		実施小学校数 （①生き物さがし ②ごみ減量・3R）	①25校（計50回） ②54校	①30校（計60回）で実施 ②228校	①30校（計60回） ②216校	一部予定通り進捗	○	② 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止をする学校が一部あったため	② 前年度に比べ新型コロナウイルス感染症の拡大が落ち着き、学校でも授業方法の基準が緩和されたため、増加となった。	①大阪市立小学校30校で2年2回実施	①6,841 ②なし	環境局
30	安全教育の推進 （保育所等）	76		・実施箇所数	57箇所 （全公設置公営保育所）	全公設置公営保育所	55箇所 （全公設置公営保育所）	予定通り進捗				交通安全等の安全に関する指導については、日常の保育所生活の中で指導を積み重ねながら、年齢に応じ自ら行動できる力を育てている。	0	こども青少年局
31	安全教育の推進 （学校園）	76		—	—	—	—	—			・ 日常の保育生活や学校生活の中で、それぞれの発達段階に応じて交通ルールやマナーが身につくよう適宜指導を実施 ・ 定例の校園長会等において、各校園における交通安全教育の充実と推進を指示 ・ 所轄警察署と連携した交通安全教室の開催を促進 ・ 大阪府警察本部と連携し、交通安全に関するチラシやポスターを各校園へ配付し、交通安全教育の取組を支援 ・ 令和2年6月策定「大阪市通学路安全プログラム」に則り、通学路の点検を実施	—	教育委員会事務局	
32	防災・減災教育の推進	77		①「子どもの安全を守るための防災・減災指導の手引き」の改訂 ②防災教育実践モデル校を指定 ③防災教育の研修会 ④区と連携し各校の「防災・減災教育カリキュラム」作成に取り組んだ小・中学校の割合	①1回 ②小学校2校、中学校2校 ③3回開催 ※eラーニング研修で実施 ④100%	①1回 ②小学校2校、中学校2校 ③3回 ④全小中学校	①1回 ②小学校1校 ③2回 ※eラーニング研修で実施 ④100%	一部予定通り進捗	○	②③コロナ禍の影響もあり、地域や区役所と連携しながら防災減災教育を行っているモデル校の選定及び研修の実施が困難であったため。		オンラインによる研修会を実施した。	—	教育委員会事務局
33	青少年層に対する防火・防災研修の充実強化	77		①小学校における実施割合 ②中学校における実施割合	①51%（149校/293校） ②67%（103校/154校）	—	①81%（251校/310校） ②83%（142校/171校）	—		コロナの感染拡大が落ち着いたことにより防火防災研修の需要が高まった。	防火絵本、小学生向けパンフレット、中学生用防災教育テキストの作成配付等を実施。	1,208	消防局	
34	情報モラル向上に向けた取組	77		—	—	—	—	—			「大阪市スマホサミット」を開催し、各中学校の代表生徒や保護者、警察関係者が参加し、具体的なトラブル回避策やトラブルの対応、スマートフォンの依存性等について考え、スマートフォン等の節度ある適切な使用に向けたルールづくりについての議論内容を各校に周知	—	教育委員会事務局	
35	消費生活に関する情報や消費者教育にかかる機会の提供	77		①エルちゃんの“わん”デー講座参加者数 ②地域講座参加者数 ③消費者センター見学講座参加者数 ④全市立中学校・高等学校（3年生）への教材配布 ⑤若年者向け消費者教育講座参加者数	①4講座 90人 ②17回 288人 ③0回 0人 ④配布校数156校、配布部数24,230部 ⑤6回 226人	—	①5講座168人 ②29回587人 ③0回 0人 ④配布校数133校、配布部数18,925部 ⑤10回1,404人	—		大阪市立の高等学校が大阪府に移管されたため	270	市民局		

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由 コロナの影響					

施策4 健康や体力を保持増進する力を育成します 【重点施策4 健康や体力の保持増進】

36	こどもの体力向上支援〔重〕	78	○	・全国体力・運動能力、運動習慣等調査児童生徒質問紙で「1週間の総運動時間」が60分未満の割合	・児童17.2% ・生徒18.3%	・児童14.1%以下 ・生徒18.9%以下	・児童14.5% ・生徒19.2%	予定通り進捗しなかった	○	コロナ禍で運動量が低下したものと考えられる。	R4全国体力・運動能力運動習慣等調査結果については、全国的に体力合計点等が低下した。 ・子どもの運動意欲を高める取組として、小学校向けの「シナプソロジー研修会」を実施。 ・教員向け実技研修会を2回実施。 ・新体力テストの測定方法について、動画を作成し、校内研修として活用できるようにした。 ・「子どもの体力向上推進プログラム」としてまとめ、各校園に周知 ・全小中学校で「検証シート」もしくは中学校では「学校のあゆみ」を作成させ、自校の児童生徒の体力向上の取組を実施。 ・経済戦略局と連携し、トップアスリートによる「夢・授業」を進めるなど、児童生徒の運動に対する興味関心を高める取組を実施。	・コロナ禍における運動量の低下を見据えて、授業中に運動量が多くなる活動を行うなど、子どもの体力向上や運動習慣の確立に積極的に取り組んだ。	4,851	教育委員会事務局
37	部活動の改革〔重〕	79	○	・教職員人権教育研修受講者アンケートで「人権に関する認識の再確認ができた等」の旨の割合	97.0%	95%	97.8%	予定通り進捗					521,642	教育委員会事務局
			○	・部活動指導員配置校生徒アンケートで「部活動でやりがいを感じている」とする旨の回答の割合	92.30%	80%以上	95.0%	予定通り進捗						教育委員会事務局
			○	・部活動指導員配置部活動の顧問教員アンケートで「配置前と比べて部活動指導時間が減少した」とする旨の回答の割合	91.20%	80%以上	89.1%	予定通り進捗						教育委員会事務局
38	学校における食育の推進〔重〕	79	○	・全小・中学校の調査で「教科等における食に関する指導の充実のための取組をしている」と回答する学校の割合	93.8%	前年度以上	90.9%	予定通り進捗しなかった	○	各校で休業が相次ぐ中、各校が食育以外の教科の単位を確保すべく、学級活動等の食育を向上させるための工夫を図ったことで、学級活動等の授業数が減少したことが主な原因と考えられる。	学級活動等の授業数が減少したこと以外の理由としては、各校が授業数減を補完するために、食育に関する配付物を増加させるなどの工夫を図ったことで、「教科等における取組」以外の取組みが増加し、結果として割合の値が減少したということも考えられる。		—	教育委員会事務局
				・栄養教育推進事業（栄養教諭・学校栄養職員の未配置校における食に関する指導）で児童を対象とする事業を実施した学級数	2301学級	—	2,948学級	—		R3はコロナ禍で事業を実施する学級が減少していたが、R4は通常の教育活動に戻りつつあったため、実施校が増加したと考えられる。			教育委員会事務局	

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由						
									コロナの影響						
39	地域スポーツ施設の管理運営	80		①スポーツセンター一般開放数 ②屋内プール水泳教室 ③アイススケート教室	①24か所 ②21か所 ③3か所（うち2か所は冬季のみ）	—	①24か所 ②21か所 ③3か所（うち2か所は冬季のみ）	—						2,644,482	経済戦略局
				・年間利用者数 （此花・西淀川はトレーニング場を併設）	此花 57,111人 西淀川 48,082人 住之江 53,172人 合計 158,365人	各施設年間利用者数10万人を達成 （此花・西淀川はトレーニング場を併設）	此花 84,661人 西淀川 80,639人 住之江 41,850人 合計 207,150人	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の利用が減少した。 また、住之江屋内プールでは、約130日間施設改修のため臨時休館したことにより年間利用者数が減少した。	令和4年度は令和3年度に比べて臨時休館の日数が減少したこともあり、その影響から年間利用者数が増加した。 （臨時休館） 令和3年度：緊急事態宣言（各プール：約60日間）、施設改修（西淀川：約90日間） 令和4年度：施設改修（住之江：約130日間）	大阪府や国のガイドラインを遵守しつつ、密にならないと判断できる範囲で、無料体験会を実施して利用者の増加に努めた。	285,989	環境局	
40	トップアスリートによる「夢・授業」	80		・実施校数／参加児童・生徒人数	193校	176校（当初予定）	173校	予定通り進捗しなかった	○	当初予定から中止となった3校の内訳は、コロナによる中止が1件と天候不順による中止が2件	新型コロナウイルス感染症の影響による申込校の減		感染拡大予防策を十分にとり実施をした。	5,560	経済戦略局
41	学校教育における健康に関する現代的課題への対応	80		—	—	—	—	—				・感染症の拡大防止のため、学校保健安全法に基づき、学校休業等の対応を行うとともに、感染症対策に関するセミナー、研修会等について各学校園へ周知した。 ・心の健康・精神疾患、感染症、性に関する問題、アレルギー疾患、薬物乱用防止、様々な健康情報の入手などについては、関係教職員向けの講座の案内や啓発用ポスター、リーフレット等を各学校園へ配布した。 ・性に関する指導については、文部科学省事業を活用して教職員向け研修を行う等、対応力の向上を図った。		—	教育委員会事務局
42	学校教育等におけるエイズ・性感染症予防に関する取組の推進	81		・啓発冊子配布数 ・全市立中学校のうちの、H I V研修を受講した教職員が在籍する学校の割合	・青少年向けエイズ情報誌「エイズのはなし」中学生版20,108部配布、高校生版4,505部配布 ・教職員向けHIV・エイズ・性教育講習会に512人参加	・ — ・ 70%以上	・青少年向けエイズ情報誌「エイズのはなし」中学生版21,100部、高校生版500部配布 ・教職員向けHIV・エイズ・性教育講習会に462人参加。全市立中学校数127校中、受講学校数は111校（87.4%）	予定通り進捗				2項目目の「講習会参加人数」は令和4年度より当課基本指針の更新により「教職員向け研修受講数・受講学校割合」に変更	教職員向け研修をこれまでの集合型研修からオンデマンド研修に変更するなど工夫を行った。	（青少年向け情報誌）187 （講習会講師謝礼）4	教育委員会事務局 健康局
43	感染症に関する正確な知識の普及啓発	81		・感染症予防・啓発ビラ等の配布	73,900部配布	73,900部配布	73,900部配布	予定通り進捗				「MRワクチン」の啓発ビラについて、3か月児健診、1歳6か月児健診等、年間通じて配布を行った。		103	健康局
44	思春期問題相談	81		・専門相談 延相談件数	56件	60件	53件	予定通り進捗しなかった		講師都合やキャンセル等での開催中止があったため		相談以外に、普及啓発（市民や支援者向けの講座等）にも取り組んでいる。	面接時は換気徹底とアクリル板を使用し、可能な限り感染予防に努めた。	622	健康局
45	アルコール・薬物・ギャンブル等依存症専門相談	81		・専門相談 延相談件数	アルコール20件 薬物21件 ギャンブル等31件	各依存15件／年以上	アルコール25件 薬物22件 ギャンブル等39件	予定通り進捗				ギャンブル等相談については病気であるとの啓発周知活動が関係していると考えられる。		7,067	健康局

基本方向 1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』						
									コロナの影響	『一部予定通り進捗』の場合の理由					
46	たばこに関する正しい知識の普及啓発	82		・喫煙防止教育用パンフレットの配布数	286校18,977人 （小学6年生対象）	—	285校19,045人 （小学6年生対象）	—						300	健康局
47	保育所等における食育の推進	82		①特定教育・保育施設等の児童や保護者を対象とした食育講話実施回数・延べ参加者数 ②地域子育て支援センターでの食育講座実施回数・延べ参加者数 ③特定教育・保育施設等の職員を対象とした食育関係の研修会の実施回数・延べ参加者数	①延べ56回（延べ1,990人） ②延べ17回（集団74人 個別73人） ②268回（延べ1,007人）【公公のみ】 ③延べ3回（延べ266人）	—	①延べ54回（延べ1,882人） ②279回（延べ1,247人）【公公のみ】 ③延べ3回（延べ243人）	—				②地域子育て支援センターの食育講座は、食を通じて地域の子育て支援を推進し、食への興味や関心を高め、調理をする意欲に繋げられるように、離乳食・おやつ・料理とに区別をし、それぞれの目的にあった内容で開催している。	②密集、密接を避けるため、講座参加者の人数を約半数に制限したが、少人数になったことで、互いの交流が深まり、子どもの「食」に関する悩みなども話しやすい環境が作りだせた。	—	こども青少年局
48	保育所給食における配慮を要する子どもへの個人対応の充実	82		①アレルギー対応件数 ②障がい児対応件数 ③医療的ケア対応件数（令和3年度から） ④その他個別配慮件数（各年5月調査）	①230件 ②47件 ③5件 ④62件 【すべて公公のみ】	—	①218件 ②54件 ③8件 ④47件 （すべて公公のみ）	—						0	こども青少年局
49	幼稚園における食育の推進	82		—	—	—	—	—				・就学前教育カリキュラム（平成31年3月改訂）を活用し、知・徳・体をバランスよく育むために食育の観点からねらいを定め、特に「体」の視点からの実践の実施 ・菜園活動を実施（旬の食べ物・栄養）し、生長への興味関心を引き出し、収穫の喜びや感謝の気持ちを育てることを実践 ・昼食を通して、食事の準備の仕方やマナーを身に付けられるような指導と、楽しく食事ができるような環境づくりの工夫・食習慣の確立に向けた指導の実施 ・保護者への継続的な啓発（食に関する情報誌の作成並びに発信、食育指導）	園HPや配付物を通じての情報発信の工夫	—	教育委員会事務局
50	学校給食におけるアレルギーのある児童生徒への対応	82		①食物アレルギー個別対応件数 ②除去食対象者	①5,916件 ②2,085件	—	①5,665件 ②2,082件	—						—	教育委員会事務局
51	食に関する相談や指導の推進	83		・各区保健福祉センターにおける食生活相談実施数	288回	—	288回	—						—	健康局
52	食に関する情報や学習機会の提供	83		・各区保健福祉センターにおける健康教育実施回数	829回	—	1045回	—			各区において、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めて事業を実施したため、令和3年度より増加となった。		マスクの着用、手指消毒等の感染対策に加え、定員を減らして参加者同士の距離をとるなど3密対策等を実施。	77	健康局
53	食の安全・安心に関する情報提供の充実	83		・エルちゃんの“わん”デー講座数、参加者数	1講座、35人	—	1講座、41人	—						23	市民局
54	大阪東部いきいき市場・夏休み子ども市場体験ツアー	83		大阪東部いきいき市場・夏休み子ども市場体験ツアーの実施	（実績なし）	1回	実績なし	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止		新鮮で豊富な食材が目の前で取引される現場を体感し、旬の食材の見分け方や料理方法などを学び市場の役割や生鮮食料品の流通の仕組み等を情報発信し市場への理解を深め、消費促進に繋げることを目的としている。	0	中央卸売市場	

基本方向 1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和 3 年度実績	令和 4 年度目標・予定	令和 4 年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 （4 年度実績が 3 年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組 等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由					

施策 5 成長の糧となる多様な体験や学習ができる機会を充実します 【重点施策 5 成長の糧となる多様な体験や学習ができる機会の充実】

55	こども 夢・創造プロジェクト事業 〔重〕	84	○	・体験プログラムに参加した小・中学生にアンケートをした結果「さらに学びたい」と答えた割合	97%	96%	95%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症予防のため、平年と比べて、事業の参加人数を減らし、実施時間も短くしたため、地域住民の意識が、例年程には、上がらなかった。			5, 202	こども青少年局
				①事業数 ②事業参加人数	①9事業 ②251人	①20事業 ②256人	①11事業 ②138人	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症のまん延のため、事業を実施できない期間が生じたため。				こども青少年局
56	地域こども体験学習事業〔重〕	85	○	・研修事業を通して地域でこどもを育成する意欲を高めた団体の割合	91%	96%	94%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症予防のため、平年と比べて、事業の参加人数を減らし、実施時間も短くしたため、地域住民の意識が、例年程には、上がらなかった			15, 742	こども青少年局
			○	・研修事業を通して体験活動を今後の活動に取り入れていく考えをもった団体の割合	91%	98%	96%	予定通り進捗しなかった	○					こども青少年局
				①こども体験利用人数 ②おとなミニ研修利用人数 ③啓発プログラム利用人数	①1, 972人 ②295人 ③(実施なし)	①5, 844人 ②1, 175人 ③1, 808人	①3, 869人 ②886人 ③820人	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症のまん延のため、事業を実施できない期間が生じたため。				こども青少年局
57	塾代助成事業 〔重〕	85	○	・登録事業者数	3, 213事業者	2, 850事業者以上	3, 453事業者	予定通り進捗					2, 262, 526	こども青少年局
			○	・カード利用率(※年度中に1回でも利用した者)	60. 7%	63%以上	59. 10%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症の夏以降の再拡大により、特に若い世代への感染者が増加し、利用者のさらなる外出自粛などが引き続き続いたためであると考えられる。				こども青少年局
58	青少年指導員・青少年福祉委員制度の推進〔重〕	85	○	・研修受講者にアンケートをした結果「役に立った」と回答した割合	(実施なし)	88%	85. 9%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症対策のため、平年と比べて、研修の実施期間が短いため、受講者の満足度が、例年程には、上がらなかった。			1, 065	こども青少年局
				・各地域における指導ルーム（夜間見回り）活動の実施回数・延参加人数	延べ回数810回・延べ参加人数5, 850人	—	延べ回数2, 002回・延べ参加人数14, 639人	—		令和 3 年度と比べコロナの感染拡大が落ち着いたことにより、前年度より多く事業を実施することができたため、実施回数・延参加人数とも増加した。				こども青少年局
59	子ども会活動の推進〔重〕	86	○	・ジュニアリーダー・シニアリーダー研修事業において、「役にたった」と回答した割合	100%	96%	97. 4%	予定通り進捗					8, 625	こども青少年局
				・加入している単位子ども会数 ・子ども会会員数	469団体 26, 284人	—	443団体 26, 193人	—						こども青少年局

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業 番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画 掲載 ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で 工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しな かった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響	『一部予定通り進捗』の 場合の理由					
60	児童いきいき放課 後事業〔重〕	86	○	・登録児童数	41,347人	47,641人	41,559人	予定通り進捗しな かった	○	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、登録児童数が減となった。			3密を回避するために、現行の活動室運営体制に加え、新たな活動室の確保にかかる人員配置の支援を行った。	3,897,572	こども青少年局
				①箇所数 ②障がいのある児童の登録数	①285か所 ②3,655人	—	①281か所 ②3,908人	—				市内の全市立小学校において実施しており、全児童を対象として、放課後等に遊びやスポーツなどを通じ児童の健全育成を図っている。			こども青少年局
61	留守家庭児童対策 事業〔重〕	86	○	・登録児童数	(60に含む)	(60に含む)	(60に含む)	予定通り進捗しな かった	○	(60に含む)				842,612	こども青少年局
				①箇所数 ②障がいのある児童の登録数	①108施設（115支援 の単位） ②149人	—	①107施設（111支援 の単位） ②145人	—				小学校等に就学する留守家庭児童の健全育成を図っている。			こども青少年局
62	学校活性化推進事 業	87		①校長経営戦略予算により実施した取組 の年度目標を達成した学校の割合 ②校長経営戦略予算により実施した取組 の年度目標を達成した幼稚園の割合	①92% ②100%	①85%以上 ②100%	①91.8% ②100%	予定通り進捗						(学校) 483,742 (幼稚園) 4,260	教育委員会事務局 こども青少年局
63	自動車文庫事業	87		・自動車文庫巡回箇所数	105ヶ所	105ヶ所	105ヶ所	予定通り進捗						7,708	教育委員会事務局
64	One Book One OSAKA	87		—	—	—	—	—				2年間を1クールとして、大阪市民・府民と協働し、来販者を対象に、お気に入りの1冊の絵本を決める投票および投票結果で選ばれた絵本等に関するイベントを実施		0	教育委員会事務局
65	こどものためのイ ベントガイド 「タッチ」	87		・発行部数	200,000部×年2回 （夏・春）	—	200,000部×年2回 （夏・春）	—					新型コロナウイルス感染症の影響により掲載情報 が変更となるアナウンス をすることにより実施	—	教育委員会事務局
66	第一級の芸術にふ れる機会の充実	88		・市民特に青少年を対象とした、伝統芸 能などの鑑賞会の実施回数	実施回数14回	実施回数11回	実施回数15回	予定通り進捗						21,083	経済戦略局
67	総合型地域スポ ーツクラブ設立及び 活動支援事業	88		・累積設立クラブ数	21クラブ（16区）	総合型スポーツクラブの活 動を継続して支援する。	21クラブ（16区）	予定通り進捗					各クラブのコロナ禍での 現状把握のためのアン ケート調査を実施した。	3,365	経済戦略局
68	おおさか子ども市 会	88		①応募総数 ②選出者数	（実施なし）	① — ②83名	（実施なし）	予定通り進捗しな かった	○	新型コロナウイルス感染 症の影響により、開催を 見送ったため			大阪市の紹介動画「大 阪市会を見学しよう」 「市会ってなあに？」を 大阪市会HPに掲載。	0	市会事務局 教育委員会事務局
69	こども文化セン ター	88		・事業参加者数	6,353人	9,600人	12,332人	予定通り進捗			前年度より多くの事業を 開催できたため、参加者 数が増加した。			79,603	こども青少年局

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	コロナの影響	『予定通り進捗しなかった』『一部予定通り進捗』の場合の理由					
70	青少年センター	89		・施設の延べ利用件数（文化ゾーン） ・施設の延べ利用人数（宿泊ゾーン）	文化ゾーン12,397件 宿泊ゾーン 2,132人	文化ゾーン18,100件 宿泊ゾーン12,000人	文化ゾーン17,446件 宿泊ゾーン 9,745人	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症の影響等による、施設利用者の減等	感染症が落ち着いた時期に合宿誘致や学習プランを設定したこと等により、宿泊ゾーンの利用が増加した。		宿泊ゾーンの個人利用者には個室対応とし、相部屋利用を休止、団体には、定員の半数で利用できるように調整を行った。10階食堂は感染症対策認証飲食店としてゴールドステッカーを取得した。 ・ホール利用者にライブ配信やオンライン会議等に対応できるインターネット回線利用サービスを実施した。	18,311	こども青少年局
71	キッズプラザ大阪	89		・施設の利用者数	124,862人	—	284,354人	—			令和4年度は緊急事態宣言等の発出がなく臨時休館の対応がなかったため。コロナ前と比べて個人客は8～9割回復したが、団体客は5割以下の回復にとどまっている。		館内の感染対策を徹底し、接触の多い展示物の使用中止や利用方法の変更等を行う等、感染対策をしながらでも子どもが楽しめるよう工夫した。	（賃料） 353,410 （補助金） 70,739	教育委員会事務局
72	生涯学習の機会や情報の提供	89		・生涯学習センターの利用者数	延べ305,080人	—	441,333人	—			令和4年度は緊急事態宣言等の発出がなく臨時休館や開館時間の短縮等対応がなかったため。		積極的にリモートを取り入れるなど事業手法に工夫を凝らし可能な限り事業を中止しなかった。	340,995	教育委員会事務局
73	こども本の森 中之島	89		・来館者数	来館者数70,190人	来館者数177,000人	来館者数121,419人	予定通り進捗しなかった	○	4月～10月まで、感染症対策による入館制限を行っていたため。	新型コロナウイルスの規制緩和に伴い、段階的に入館上限を引き上げたため。		・事前予約システムの導入 ・感染拡大防止の観点から入館者数を制限	50,813	経済戦略局

施策6 家庭・学校・地域の連携により教育環境を充実します

74	学校図書館の活性化	91		①学校図書館貸出冊数（児童生徒1人当たりの年間貸出冊数） ②「学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行いましたか」に対して、週に1回程度、または、それ以上行った」又は「月に数回程度行った」と回答する学級担任の割合	①— ②—	①小学校 31冊 中学校 3.8冊 ②72%	①小学校 32冊 中学校 2.8冊 ②69.8%	予定通り進捗しなかった	○	①コロナの影響により、中学校において、年度初めのオリエンテーションの実施ができていないなどの理由により、入学後に一度も学校図書館を利用していない生徒が増加しているため ②学校図書館やその蔵書を活用した授業を計画的に行う教員は増加傾向にあるが、コロナの影響により司書教諭スキルアップ講習が実施できなかった等、学校図書館活用方法や学校司書の役割について、教員への周知が進まなかったため		読書活動における利活用に加え、授業での様々な学習における利活用を進めるため、令和4年度より学校図書館補助員に替えて学校司書182名を配置した。学校司書のスキルアップや、教職員への利活用事例の提供等に取り組んでいる。	・学校司書のスキルアップのための研修は、日程を分散する等の工夫により、予定通り実施した。 ・司書教諭スキルアップ講習は、コロナの影響で実施できなかったが、教育フォーラムにて、学校図書館の授業での活用についてオンライン分科会を実施した。	252,816	教育委員会事務局
75	市立図書館から小・中学校への圖書の団体貸出	92		・学校図書館等への団体貸出冊数	85,320冊	90,000冊	97,341冊	予定通り進捗			前年度までコロナの影響により学校からの貸出依頼が減少していたところ、徐々に依頼が平常時に復調してきたため			1,097	教育委員会事務局
76	地域図書館の建替整備及び知識創造型図書館機能の充実	92		①電子図書館機能の利用促進（商用データベース等の総アクセス件数の増：全館） ②図書館及びホームページの利用促進（来館者数とアクセス件数の合計数の増：全館） ③読書活動支援ボランティア数 ④学校との連携事業拡大（地域図書館） ⑤区役所、子育て支援施設等地域施設との連携事業拡大（地域図書館）	①505,066件 ②14,393,443件 ③2,472名 ④1,859件 ⑤1,146件	①— ②15,220,000件 ③— ④— ⑤—	①492,819件 ②15,868,930件 ③2,478名 ④3,011件 ⑤1,539件	予定通り進捗			前年度までコロナの影響により利用が減少していたところ、徐々に平常時に復調してきたため			—	教育委員会事務局

基本方向１ こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和３年度実績	令和４年度目標・予定	令和４年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （４年度実績が３年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組 等	コロナの影響が続く中で 工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しな かった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』						
									コロナ の影響	『一部予定通り進捗』の 場合の理由					
77	大阪の歴史・現 状・文化について の学習に役立つ資 料や情報の収集・ 提供	92		①「調べかたリーフレット」の作成・配 布・文化についての学習に役立つ資 料や情報の収集・提供 ②大阪の歴史や文化に関するクイズを 使った「としょかんポイントプログラ ム」参加者数（15歳以下）	①テーマ別調べかた リーフレット（子ど も向け）の周知 ②3,507人	①テーマ別調べかたリー フレット（子ども向け）の周 知 ②としょかんポイントプロ グラム参加者数増（15歳以 下）	①テーマ別調べかた リーフレット（子ど も向け）の周知 ②3,552人	予定通り進捗			②館内掲示やサイト、SNS で積極的に広報するとと もに窓口等での声かけも 行ったため。			0	教育委員会事務局
78	保護者や地域住民 に開かれた学校の 運営	92		「学校協議会を通して、保護者・地域等 の学校運営への参画が進んだ」と回答す る学校協議会の割合	93%	94%以上	98.7%	予定通り進捗						16	教育委員会事務局
79	開かれた学校運営 と教育コミュニ ティづくりの推進	93		学校元気アップ地域本部事業 ①実施校区数 ②ボランティア登録数	①市内全126中学校 区 ②2,585名	①市内全126中学校区 ②1,260名	①市内全126中学校 区 ②2,700名	予定通り進捗						116,434	教育委員会事務局
80	登下校時のこども の安全確保	93		各校区において、学校と地域で、登下校 時の子どもの安全確保などをテーマにし た話し合い等年１回以上の実施	96.8%	—	—	—				各校区において、地域の 様々な団体等の協力を得 て、児童の登下校の見守 り活動など安全確保の取 組を行っている。		—	教育委員会事務局
81	P T Aの育成	93		—	—	—	—	—				大阪市中学生国際交流事 業（オーストラリア派 遣）が新型コロナウイルス 感染症の影響により実 施できなかった。		—	教育委員会事務局
82	家庭教育や子育て の情報提供や学習 支援	94		事業参加者に対するアンケート満足度	93.75%	90%以上	92.09%	予定通り進捗						794	教育委員会事務局
83	学習環境の分析	94		「自校の全国学力・学習状況調査結果を 大阪市の結果と併せて分析し、具体的 な教育指導の改善や指導計画等へ反映し ている」学校の割合	小学校：96.9% 中学校：92.3%	小学校：95%以上 中学校：95%以上	小学校：96.8% 中学校：93.0%	一部予定通り進捗	○	小中学校全体としては、 できている学校の割合は 高い水準を保っている が、コロナ禍において、 進路保障の観点から限ら れた教育活動の中で、調 査結果の分析を指導計画 等に十分反映できない中 学校があったため。			—	教育委員会事務局	
84	大阪市学校体育施 設開放事業	94		学校体育施設開放事業開放校数 ①小学校 ②中学校 ③小中一貫校 ④高等学校	（未測定）	—	（未測定）	—				各区の事業が円滑に実施 されるよう調整を行い、 スポーツ振興につなげ る。 経済戦略局：事業実施に 係る光熱水費の支払いと 防球ネット工事やグラウ ンド照明点検等の施設整 備を実施。 各区役所：事業実施運営		11,845 （光熱水費 及び施設整 備経費）	各区役所 経済戦略局

施策７ 勤労観・職業観を醸成し、社会的・経済的自立を支援します

85	進路指導の充実	95		—	—	—	—	—				中学生が進学に明確な目標を持ち、充実した学校生活を送る一助となるよう、引き続き、各校の進路ガイダンス機能が充実するための指導助言を行う。		—	教育委員会事務局
86	しごと情報ひろば総合就労サポート事業	95		・事業利用実績 ①相談件数 ②就職者数	①30,545件 ②1,837人	—	①33,989件 ②2,077人	—			令和３年度は緊急事態宣言が発出されたことに伴い窓口を一時閉鎖したが、令和４年度は予定どおり開所したため。	オンラインによる就労相談、合同企業説明会等の実施		95,795	市民局
87	中学校夜間学級における教育の充実	96		—	—	—	—	—				校外学習を実施することにより、学習成果の総合的な発展を図った。		631	教育委員会事務局

基本方向1 こども・青少年の「生きる力」を育成します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で 工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					
88	図書館におけるレファレンスサービス事業	96		①調査相談件数 ②年間アクセス件数（法律・判例や医学情報の商用データベース（28種類）に加え、電子書籍サービス・音楽配信サービス等の電子図書館機能も含む）	①570,157件 ②505,066件	—	①654,056件 ②492,819件	—					Webで利用できる電子図書館サービスについて積極的に周知を行った	14,141	教育委員会事務局

施策8 地域における多様な担い手を育成します

89	地域活動協議会	97		—	—	—	—	—				「地域活動協議会」は、おおむね小学校区域を範囲として、自治会・町内会や子ども会、老人クラブ、PTA、NPO、企業など様々な団体が協力しながら、防災訓練や子ども向けのイベント、見守り、清掃活動、地域のまつりなど、災害時はもちろんのこと、日常的に助け合えるよう地域のまちづくりの活動に取り組んでいる。	・地域活動協議会に対する補助金は上限75%（みなし人件費に対する補助含む）が原則であるが、コロナ禍においても地域活動協議会が安心して地域活動が行えるよう、感染拡大防止に資する物品等の整備経費は全額補助できるよう地域活動協議会に対する補助金の交付の基準に関する要綱の改正を行った。（令和3年度）	—	市民局
90	民生委員・児童委員・主任児童委員	97		—	—	—	—	—				民生委員・児童委員は、地域の住民生活を必要に応じ適切に把握し、生活に困った人や児童の保護・育成などの福祉について相談を受け、自立を助けるために必要な相談・支援を行う地域福祉推進の担い手であり、各地区の民生委員・児童委員が日常生活上のことやこどものことについて相談に応じている。 令和4年10月24日の民生委員・児童委員大会においては、特別公演「孤独・孤立を生まないような地域づくりについて」を約750人の民生委員・児童委員が受講した。	左記の研修等については、HP上で動画を配信し、その他の研修についてもDVD配付やYouTubeを活用する等により行った。	387,693	福祉局 こども青少年局
91	多様な協働（マルチパートナーシップ）の推進	98		・（大阪市民活動総合支援事業）大阪市民活動総合ポータルサイトで情報発信された件数（受託事業者が発信する件数を除く）	687件	— （1,000件以上 ＜令和6年度末＞）	890件	—			令和3年10月にリニューアルを行い、利用者にとつての総合案内機能を高め、情報発信機能についても多機能化により、より使いやすくなっており、継続して活動している団体の情報発信数が増加しているため。		活動主体間がつながるきっかけづくりとして開催するセミナー等について、オンライン参加にも対応するとともに、一部のセミナーについては動画をアーカイブ配信した。	24,230	市民局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業 番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画 掲載 ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響 『一部予定通り進捗』の場合の理由					

(1) 安心して子どもを生み、育てることができる仕組みの充実

施策1 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援を充実します 【重点施策6 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実】

92	妊婦健康診査〔重〕	101	○	・年間受診対象人数(妊婦届出数) ・年間延べ受診回数	21,572人 252,940回	24,002人 277,769回	21,065人 242,426回	予定通り進捗しなかった	○	コロナ禍による影響及び妊婦届出数(妊婦数)が減少しているため。				子ども青少年局
				①妊婦健康診査受診者数(受診率) ②妊婦への歯科健康診査受診者数 ③産婦健康診査受診者数	①延252,940人 【内訳】 前期41,508人 (96.2%) 中期79,850人 (92.5%) 後期131,582人 (76.2%) ②1,987人 ③延べ30,184人	—	①延べ242,426人 前期41,139人 中期77,600人 後期123,687人 ②1,928人 ③延べ28,558人	—					2,392,247	子ども青少年局
93	産後ケア事業〔重〕	102	○	・利用者のうち、育児に自信が持てるようになった人の割合	99.9%	育児に自信を持てるようになった人の割合：98%以上	99.5%	予定通り進捗						子ども青少年局
				①ショートステイ実施人数 ②デイケア実施人数	①573人 ②309人 ③アウトリーチ16人	—	①789人 ②522人 ③56人	—				マスクの着用、手指消毒等の感染対策を行ったうえで、実施。	125,325	子ども青少年局
94	赤ちゃんへの気持ち質問事業〔重〕	102	○	・母子訪問・乳児家庭全戸訪問・専門的 家庭訪問支援事業の対象者への自己記入 式「赤ちゃんへの気持ち質問票」実施	99.8%	乳児家庭全戸訪問・専門的 家庭訪問支援事業の対象者 への自己記入式質問票「赤 ちゃんへの気持ち(ボン ディング)」実施：100%	13,280件 (99.8%)	予定通り進捗しなかった		日本語を理解できない外国籍の母には質問紙特有の表現の理解が困難な状況があるため自己記入式質問の実施ができず目標に達しなかった。		日本語を理解できない外国籍の母に対しては、家庭訪問の場で観察した情報から総合的にアセスメントを行い、必要に応じて継続支援につなげている。	9,969	子ども青少年局
95	養育支援訪問事業(専門的 家庭訪問支援事業)〔重〕	102	○	・新規訪問案件数	707件 (助産師532件、保健師175件)	521件	合計509件(実件数) ①助産師②保健師 妊婦 ①46件 ②1件 産婦 ①283件 ②179件 ※延件数2180件	予定通り進捗しなかった	○	本事業は利用者ニーズではなく、行政として養育支援が必要と判断した家庭に派遣を行うものであり、その実績は年度によって一定しておらず、要因の見極めが難しい。	本事業は利用者ニーズではなく、行政として養育支援が必要と判断した家庭に派遣を行うものであり、その実績は年度によって一定しておらず、要因の見極めが難しい。	マスクの着用、手指消毒等の感染対策を行ったうえで、実施。	12,251	子ども青少年局
96	乳児家庭全戸訪問事業〔重〕	102	○	・年間訪問指導人数	17,339人	19,865人	17,397人	予定通り進捗しなかった	○	出生数の減、及びコロナにより訪問機会の減のため。		未訪問家庭に対しても、家庭状況の把握は行っている。	57,420	子ども青少年局
				・家庭訪問実施率	86.9%	—	92.5%	—				マスクの着用、手指消毒等の感染対策を行ったうえで、実施。		子ども青少年局
97	不妊専門相談センター事業〔重〕	102	○	・利用者にアンケートをした結果、満足と答えた割合(面接相談)	100%	96%以上	100%	予定通り進捗						子ども青少年局
				・電話・面接相談件数	564件	440件 (面接40件、電話相談400件)	456件	予定通り進捗			面接44件(+5件) 電話相談412件(▲113件) 面接相談件数は増加したが、電話相談件数については、R4年度より不妊治療が保険適用となり、助成制度が限定的な対象(経過措置対象のみ)となり、助成制度に関する問合せが減っているため		5,606	子ども青少年局
98	多胎児家庭外出支援事業〔重〕	103	○	・使用割合(交付者数に対する使用率)	49.6%	70%以上	54.7%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症の流行に伴う外出減、子育て関連施設の休業等による使用機会減			1,160	子ども青少年局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 (〔重〕は重点施策として実施する事業)	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					
99	4歳児訪問事業 〔重〕	103	○	・住民票等により把握している全4歳児等の対象児童との接触（絵本の配付）	99.72%	100%	99.71%	予定通り進捗しなかった		連絡調整中などにより、年度内に確認ができなかったため				—	こども青少年局
100	特定不妊治療に対する助成	103		・助成件数	5,649件	3,296件	4,281件	予定通り進捗			令和4年3月に助成制度が終了し、令和4年度は、令和3年度中に治療が終了したもの及び令和4年4月1日までに治療を開始したものの（経過措置）のみ受付のため			934,383	こども青少年局
101	周産期緊急医療対策事業	104		・周産期医療体制確保	夜間365日 休日昼間72日 土曜（休日除）51日	—	夜間365日 休日昼間72日 土曜（休日除）51日	—				妊産婦・新生児を休日・夜間に受け入れる医療機関を当番制により確保する等、大阪府・大阪市・堺市で分担金を支出し周産期緊急医療体制の整備・充実を図っている。		30,000	健康局
102	母親教室	104		①開催回数 ②参加者数	①747回 ②延べ6,794人	—	①832回 ②延7,133人	—					マスクの着用、手指消毒等の感染対策に加え、参加者同士の距離をとるなど3密対策等を実施。	1,745	こども青少年局
103	父親の育児参加啓発事業	104		・セミナー参加組数（人数）	62組	1,220組以上	564組	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、1開催あたりの参加組数を縮小して実施した。	コロナ禍によりR4.1月まで開催を見送っていたが、R4.2月より再開し、R4年度は通年開催したため昨年度より参加組数が増となった。		・ソーシャルディスタンス確保のため、参加枠数を平成31年度以前は110組/1開催であったところ、令和3年度以降は48組/1開催にしている。 ・基本的な感染症予防対策を講じて実施した。（従事者の健康状態の確認、来場者の検温・マスク着用・アルコール消毒、会場の換気の励行など） ・感染拡大の状況を鑑みて、必要な場合はオンライン開催も可能とした。	6,321	こども青少年局
104	地域ふれあい子育て教室事業	104		①実施回数 ②参加者数（乳幼児・養育者等）	①853回 ②9,460人	①— ②29,000人以上	①1249回 ②14,887人 （乳児5055人 幼児2493人 養育者7280人 その他59人）	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、1開催あたりの参加組数を縮小したり、定期開催ではなかったことや体験等の内容を省くなど、魅力的な内容になりづらかった。	コロナ禍によりR3年度は開催を控えていたが、R4年度では感染対策を講じながら実施回数を増やした。		マスクの着用、手指消毒等の感染対策に加え、参加者同士の距離をとるなど3密対策等を実施。	432	こども青少年局

施策2 思春期の子どもの健康を守る取組を充実します

105	健全母性育成事業	105		・セミナー受講人数	5,931人	—	6,662人	—					希望する学校には、リモート形式の講義を行う等、柔軟に対応した。	2,189	こども青少年局
-----	----------	-----	--	-----------	--------	---	--------	---	--	--	--	--	---------------------------------	-------	---------

基本方向2 安心してこどもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由	コロナの影響					

（2）身近な地域における子育て家庭への支援の充実

施策1 こどもの健康や安全を守る仕組みを充実します

106	新生児聴覚検査	107		・受検者数（受検率）	18,347人 (91.9%)	— (100%)	17,541人 (93.3%)	予定通り進捗しなかった		令和3年度に比べ受検率が向上したものの、聴覚検査機器が整備されていない等により出産医療機関において検査ができなかった場合、生後1か月以内に検査可能施設で受検するよう勧奨しているが、期限内に受検しない場合があったため。		母子健康手帳交付時面接や母親教室、また、乳児家庭全戸訪問等の機会を通じて、新生児聴覚検査の意義を説明するなど事業の周知徹底を図っている。		64,128	こども青少年局
107	乳児一般健康診査	108		①前期受診件数（受診率） ②後期受診件数（受診率）	①17,390件 (87.2%) ②16,960件 (85.1%)	— (85.3%以上)	①16,356人 (87%) ②16,745人 (89.1%)	予定通り進捗					コロナ禍においても、乳幼児健診は一番必要な時期に受けていただくよう訪問事業や健診事業等の母子保健事業の機会を通じて啓発を行っている。	231,109	こども青少年局
108	3か月児・1歳6か月児・3歳児健康診査	108		①3か月受診者数（受診率） ②1歳6か月受診者数（受診率） ③3歳受診者数（受診率）	①19,153件人 (96%) ②18,789件人 (95.5%) ③18,992件人 (93.8%)	— (95%以上)	95.2% ①18,333人 (96.6%) ②18,533人 (95.7%) ③18,134人 (93.3%)	予定通り進捗						175,096	こども青少年局
109	こども医療費助成制度	108		・対象者数	306,312人	305,842人	302,945人	予定通り進捗しなかった		対象となるこどもの減少				9,292,596	こども青少年局
110	休日・夜間急病診療所の運営事業	108		・夜間休日急病診療所の開設日数	夜間365日 休日昼間72日 土曜（休日除）51日	夜間（365日）、日・祝日及び年末年始の初期救急医療体制の確保	夜間365日 休日昼間72日 土曜（休日除）51日	予定通り進捗				休日急病診療所（6診療所 休日昼間72日、うち1診療所平日夜間242日）、中央急病診療所（365日）		709,434	健康局
111	救急安心センター事業	109		①着信件数 ②救急医療相談件数	①252,332件 ②128,974件	—	①317,498件 ②143,837件	—			新型コロナウイルス感染症拡大により、病院案内や医療相談が増加した。	有用度向上のため、以下の取組を実施。 ・委託事業者と定期的に会議を開催 ・ウェブアンケートを活用し、事業効果を分析 ・外部委員による検討会議にて質を向上を図る。	新しい生活様式に対応した広報媒体を作成するため、府下市町村と広報啓発に関する会議を開催し、認知度の向上に取り組んだ。	262,711	消防局

施策2 子育て不安を軽減し安心して子育てできる取組を充実します

112	区保健福祉センターにおける相談の充実	111		・子育て支援室相談受付件数	16,868件	—	9,979件	—			受付件数のカウント方法の変更に伴う減（令和4年度から新規相談受付件数のみ計上）		228,794	各区役所 こども青少年局
113	こども相談センターにおける子育て家庭への相談や支援	111		・児童相談受付件数	17,856件	—	18,443件	—					—	こども青少年局
114	男女共同参画センター子育て活動支援館	111		①相談件数 ②地域子育て活動者研修（実施回数、受講者数） ③提供会員養成講座（実施回数、受講者数） ④各区子ども・子育てプラザ共催講座（実施回数、受講者数）	①3,464件 ②25回、612人 ③4回、122人 ④89回、1,287人	—	①4,444件 ②25回、579人 ③4回、172人 ④98回、1,527人	—			令和3年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、参加者数が増加したため	・マスクの着用、手指消毒等の感染予防対策の継続実施 ・状況に応じてオンラインを活用しながら講座を実施	61,451	こども青少年局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					
115	子育て活動支援事業 (子ども・子育てプラザ)	112		①利用人数 ②相談件数	①277,083人 ②9,445件	—	①424,805人 ②10,712件	—			令和3年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、利用者数が増加したため		・感染症対策として、予約制、人数制限等を実施しながら、可能な限り運営を継続した。	762,513	子ども青少年局
116	地域子育て支援拠点事業	112		①箇所数 ②相談件数	①129か所 ②42,395件	①141か所 ② —	①131か所 ②54,996件	予定通り進捗しなかった	○	箇所数について、公募型プロポーザル方式にて実施事業者を公募してきたが、新たな事業者からの応募が少なかった結果、新規開設する施設が少なく、目標数の141か所の確保に至らなかった。	令和3年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、利用者数が増加したため		マスクの着用、手指消毒等の感染対策に加え、参加者同士の距離をとるなど3密対策等を実施。	728,608	子ども青少年局
117	幼稚園における子育て支援・地域との交流活動の実施	112		・実施園	全園	—	全園	—						—	子ども青少年局
118	利用者支援事業	112		①箇所数 ②相談件数	①24か所 ②25,707件	①24か所 ② —	①24か所 ②27,033件	予定通り進捗			令和4年度に専門員が増員された区があり、支援体制が強化されたことにより増加したと考えられる。			130,361	子ども青少年局
119	ブックスタート	112		・参加者割合	32.8%	60%以上	38.0%	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルスの影響により、感染予防拡大防止を図りながらの活動であったため、参加者数が伸びなかった	令和3年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、参加者数が増加したため		マスクの着用、手指消毒等の感染対策に加え、参加者同士の距離をとるなど3密対策等を実施。	3,332	子ども青少年局
120	子育ていろいろ便利帳	112		・発行部数	41,500部	39,650部	39,650部	予定通り進捗			母子健康手帳交付見込数の減による発行部数の減			3,549	子ども青少年局
121	赤ちゃんの駅事業	113		・箇所数	424箇所	450箇所以上	426箇所	予定通り進捗しなかった		施設への登録勧奨をおこなったものの、目標までの登録には至らなかった。				19	子ども青少年局
122	一時預かり事業 (幼稚園在園児以外対象)	113		・年間延べ利用人数	79,807人日<確保> 39,131人日<利用>	89,764人日<確保> —	80,889人日<確保> 47,947人日<利用>	予定通り進捗しなかった	○	利用枠の確保について、公募により実施事業者を選定しているが、新たな事業者からの応募が少なかった結果、新規開設する施設が少なかった。	令和3年度と比較し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、利用者が増加したため		マスクの着用、手指消毒等の感染予防対策の継続実施	230,127	子ども青少年局
123-1	病児・病後児保育事業	113		・年間延べ利用人数	39,506人日<確保> 9,562人日<利用>	43,208人日<確保> —	①38,259人日 ②10,056人日	予定通り進捗しなかった	○	計画達成に向け3か所を公募したが、応募が少なかった。また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数減等により、2か所が廃止となった。			マスクの着用、手指消毒等の感染予防対策の継続実施	234,835	子ども青少年局
123-2	病児・病後児保育事業(体調不良児対応型)	113	○	・年間延べ利用人数	—	101,037人日<確保> 166,726人日<利用>	58,336人日<確保> 24,565人日<利用>	予定通り進捗しなかった		看護師の確保が困難であったため		各施設への制度周知。大阪府看護師協会等関係機関に看護師の求人募集について協力を依頼。		517,718	子ども青少年局
124	子どものショートステイ事業(子育て短期支援事業)	113		・年間延べ利用人数	1,232人日<確保> 334人日<利用>	1,218人日<確保> —	1,218人日<確保> 409人日<利用>	予定通り進捗						2,745	子ども青少年局
125	ファミリー・サポート・センター事業	113		①就学前利用人数 ②学童期利用人数	①18,629人 ②1,220人	①17,515人 ②3,438人	①21,339人 ②1,118人	一部予定通り進捗		全体的には新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、利用人数が増加したものの、学童期利用人数は、児童いきいき放課後放課後事業の登録児童数の減に伴い、利用人数が減少したため。	就学前については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況が落ち着き、利用者が増加した。			—	子ども青少年局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由	コロナの影響					
126	児童手当	113		・受給者数	3,483,083人	—	3,289,636人	—						35,718,164	こども青少年局
127	保育料（保育所等）の負担軽減	114		—	—	—	—	—				国が定める保育料から約3割程度軽減を行っている。		—	こども青少年局
128	実費徴収に係る補足給付事業	114		・対象者数	民間保育所：978人 公立保育所：268人 市立幼稚園：19人 計：1,265人	—	民間保育所：848人 公立保育所：249人 市立幼稚園：14人 計：1,111人	—			保育認定を受けている第1階層の人数の減少にともなう支給認定件数の減 (第1階層の人数) R3：1,692—R4：1,581			12,570	こども青少年局
129	教育費等の負担軽減	114		①学用品等補助認定人員 ②奨学費認定数	①小学校18,549人 中学校11,195人 ②636人	—	①小学校17,154人 中学校10,602人 ②407人	—			②併給調整を行う大阪府「奨学のための給付金」の増額に伴い、大阪市奨学費が不支給となる対象者が増加したため。			①941,941 ②8,837	教育委員会事務局

(3) 家庭の状況に応じた子育て支援の充実

施策1 ひとり親家庭への支援を充実します〔重点施策7 ひとり親家庭への支援の充実〕

130	ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業〔重〕	115	○	・ひとり親家庭等就業・自立支援センターで求職登録した方の就職率	50.3%	44%	53.15%	予定通り進捗					ひとりひとりの状況に応じた伴走型の支援を実施し、就職支援・職場定着支援を実施した	45,333	こども青少年局
				①就業相談件数 ②新規求職登録者数 ③就職者数	①3,222件 ②591件 ③297件	—	①3,404件 ②572件 ③304件	—							こども青少年局
131	養育費確保のトータルサポート事業〔重〕	116	○	・児童扶養手当受給者で養育費を受給している人の割合	13.11%	10%	14.19%	予定通り進捗						20,488	こども青少年局
132	ひとり親家庭サポーター事業〔重〕	116	○	・ひとり親家庭サポーターの相談件数	4,689件	3,900件以上	4,488件	予定通り進捗						41,913	こども青少年局
				①就業相談件数 ②就職者数	①1,859件 ②235人	—	①2,160件 ②186人	—							こども青少年局
133	ひとり親家庭自立支援給付金事業	116		①教育訓練給付金受給者数 ②高等職業訓練促進給付金受給者数 ③高卒認定試験合格支援事業修了時給付金受給者数（合格時給付金受給者数）	①68人 ②268人 ③8人（7人）	①94人 ②287人 ③13人（10人）	①68人 ②307人 ③10人（8人）	一部予定通り進捗	○	新型コロナウイルス感染症及び不況の影響により利用を控える傾向が強かったと考えられる	国制度において、対象資格及び期間の緩和が行われているため、②の件数が増加していると考えられる。			444,204	こども青少年局
134	ひとり親家庭専門学校等受給対策事業	117		①修了時給付金受給者数 ②合格時給付金受給者数 ②受給対策講座受講者数	①42人 ②35人 ③16人	①50人 ②50人 ③20人	①32人 ②23人 ③16人	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルス感染症や不況の影響により利用を控える傾向が強かったと考えられる	高等職業訓練促進給付金（133②）の要件・期間緩和措置が行われており、緩和対象となっている情報分野資格等を指す人が増加しており、従来資格が相対的に減少していると考えられる。			17,151	こども青少年局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和３年度実績	令和４年度目標・予定	令和４年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 （４年度実績が３年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組 等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響 『一部予定通り進捗』の場合の理由					
135	ひとり親家庭等日常生活支援事業	117		①延べ派遣件数 ②延べ時間	①931件 ②3,281時間	—	①1,196件 ②3,596時間	—					12,260	こども青少年局
136	母子生活支援施設	117		・母子生活支援施設の箇所数	市管：4箇所	—	市管：4箇所	—					744,675	こども青少年局
137	児童扶養手当	117		・受給者数等	24,858人	—	23,799人	—					12,712,501	こども青少年局
138	ひとり親家庭医療費助成制度	118		対象者数 ①親等 ②児童	①21,802人 ②32,140人	①23,520人 ②34,277人	①21,051人 ②31,086人	予定通り進捗しなかった		対象となるひとり親世帯の減少			2,079,873	こども青少年局
139	相談・情報提供機能の充実	118		・相談件数	3,812件（生活一般相談120件、児童相談26件、生活援助相談179件、就労相談3,236件、法律相談67件、その他184件）	—	3,984件（生活一般相談123件、児童相談26件、生活援助相談191件、就労相談3,411件、法律相談72件、その他161件）	—					2,036	こども青少年局
140	地域団体や企業、NPO法人など民間団体との連携	118		・連携パートナー件数	7団体	—	7団体	—					0	こども青少年局

施策2 障がいのある子どもと家庭への支援を充実します 【重点施策8 障がいのある子どもと家庭への支援】

141	発達障がい者への支援〔重〕	120	○	・専門療育機関の実施箇所数	6 か所	6 か所	6 か所	予定通り進捗				3歳児から小学校3年生までの児童で、それぞれの特性を踏まえた指導手法を用いて身辺自立や集団への適応に向けた日常生活の力を伸ばすための個別療育を行うため、令和4年度、大阪市域で6か所280名の定員を確保している。	70,858	福祉局
			○	・専門療育機関の定員	280名	280名	280名	予定通り進捗				マスクの着用、手指消毒等の感染予防対策のうえ、事業継続実施。また、利用者の状況等に応じて療育の日程変更、電話等での対応を実施。		福祉局
				発達障がい者支援センター ①延べ相談・発達支援件数、延べ就労支援件数 ②延べ親支援講座開催回数、延べ参加人数 ③延べ啓発研修開催回数、延べ参加人数 ④延べ機関支援実施回数	①2,144件、769件 計2,913件 ②140回、1,337人 ③24回、919人 ④124回	①相談件数 2,445件 ② — ③ — ④ —	①1,966件、831件 計2,797件 ②138回、1,634人 ③33回、1,079人 ④135回	予定通り進捗			マスクの着用、手指消毒等の感染予防対策のうえ、事業継続実施。	68,451	福祉局	
142	重症心身障がい児（者）への支援〔重〕	120	○	・医療型ショートステイの利用実績	2,223日	2,600日以上	1,844日	予定通り進捗しなかった	○	新型コロナウイルスの感染拡大による利用控え、医療体制の逼迫によりショートステイ病床の確保が困難であったと考えられる。	新型コロナウイルス感染拡大による利用控えがあったと推察される。		34,114	福祉局
143	障がい児保育事業〔重〕	121	○	・全民間保育所等のうち、障がい児受入施設の割合	73.9%	70.90%	75.6%	予定通り進捗					2,121,457	こども青少年局
				障がい児の受け入れ状況（箇所数、人数） ①市立保育所 ②民間保育所等	①87カ所 493人 ②351カ所 1,288人	① — ②351カ所	①87カ所 562人 ②378カ所 1,348人	予定通り進捗						こども青少年局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					
144	私立幼稚園における特別支援教育の充実〔重〕	121	○	・大阪市要支援児受入促進指定園数	70園	74園	74園	予定通り進捗						191,945	こども青少年局
				障がい児の受け入れ状況（箇所数、人数）	83園、450人	—	98園 517人	—							こども青少年局
145	特別支援教育相談事業	121		①相談件数 ②相談回数 ③相談のあったなかで、支援・指導により終結した割合	①455件 ②1,538件 ③97%	①630件 ②2,300回 ③90%以上	①539件 ②1,743回 ③90.4%	一部予定通り進捗	○	児童生徒及び保護者に特別支援教育の理解が浸透し、検査1回あたりに要する相談回数が減るとともに、他の機関に相談する事例が増えたことや対面での面談実施のため、コロナによる相談控えの傾向があったため。		相談室の換気や消毒などの感染防止対策を徹底した。		25,264	こども青少年局
146	障がい児等療育支援事業	122		①訪問件数 ②外来件数 ③施設職員指導件数	①552件 ②1989件 ③287件	—	①512件 ②1,985件 ③312件	—						14,193	福祉局
147	児童発達支援事業	122		・利用延べ人数	48,194人	44,676人	56,355人	予定通り進捗			児童発達支援事業所数の増加により利用者が増加したため		厚生労働省の通知に基づく代替支援等臨時的な取扱いを認めた。	9,923,493	福祉局
148	放課後等デイサービス	122		・利用延べ人数	92,674人	78,504人	107,329人	予定通り進捗			放課後等デイサービス事業所数の増加により利用者が増加したため		厚生労働省の通知に基づく代替支援等臨時的な取扱いを認めた。	15,258,483	福祉局
149	保育所等訪問支援事業	122		・利用延べ人数	6,102人	1,896人	8,935人	予定通り進捗			保育所等訪問支援事業所数の増加により利用者が増加したため		厚生労働省の通知に基づく代替支援等臨時的な取扱いを認めた。	256,452	福祉局
150	4・5歳児発達相談	123		・相談件数	延べ328件	—	延べ285人	—			コロナ禍により受診控えがあった。			157	こども青少年局
151	重症心身障がい児訪問指導	123		・訪問回数	202人	450人	75人	予定通り進捗しなかった	○	個人宅へ訪問する活動が基本となっており、新型コロナウイルス感染症発生拡大防止の観点から活動できない状況が続いていたため。	新型コロナウイルス感染症の影響及び入院ケースの増加による減。	対象児童の保護者に対して、電話による相談先の案内や当該児童の状況確認を行った。		2,651	こども青少年局
152	発達支援プログラム冊子の普及・活用	123		・追加発行・関係各所配付部数	配布 52部 （26セット）	—	配布 52部 （26セット）	—						—	こども青少年局
153	教育・保育施設等の教職員への研修	123		①障がい児保育研修会開催回数 ②障がい児保育研究会開催回数	①10回 ②10回	—	①6回 ②11回	—					オンライン研修の導入	0	こども青少年局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					
154	教育・保育施設等の教職員に対する発達障がい児等に関する相談支援	124		・相談があった施設のうち、効果的かつ具体的なアドバイスを受けることができてよかったと思った割合	100.0%	96.5%以上	99.0%	予定通り進捗						13,325	子ども青少年局

施策3 長期にわたり療養を必要とする子どもと家庭への支援を充実します

155	小児慢性特定疾病児等にかかる相談事業	125		①小児慢性特定疾病児等療養相談会（実施回数、参加組数、参加人数） ②各区保健福祉センターにおける面接相談件数、訪問件数 ③ピアカウンセラーによる相談件数	①2回、27組、38人 ②945人、191人 ③0件	①5回（1開催当たり定員25組50名） ② — ③ —	①5回、198組、202人 ②1008人、242人 ③3件	予定通り進捗			①中止せず全回実施できたため、また動画配信により参加数増加 ②感染状況に留意しながら訪問実施できたため ③療養相談会が全回実施でき、ピアカウンセラーに相談できる機会が得られたため	①について、講演を動画配信した		3,727	健康局
-----	--------------------	-----	--	--	----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	--------	--	--	---	-----------------	--	-------	-----

施策4 外国につながる子どもと家庭への支援を充実します

156	外国人のための相談	126		・相談件数	4,261件（経済戦略局） 53件（市民局）	3,400件（経済戦略局） —	4,435件（経済戦略局） 56件（市民局）	予定通り進捗			新型コロナウイルス感染症やワクチン接種の情報、子育て世帯生活支援特別給付金関連のほか、生活困窮、日本語学習やビザ関連の相談が多く寄せられた。また、ウクライナ避難民への相談対応も行い、約600件の相談が寄せられ、相談のなかには、子育てや子どもの教育に関するものもあった ＜補足説明＞ R1年（2019年）7月1日より、法務省の交付金事業「多文化共生総合ワンストップセンター」として1階のインフォメーションセンター内「外国人のための相談窓口」を機能拡充し、英語、中国語、韓国・朝鮮語に加えベトナム語、フィリピン語の対応を開始し、機械翻訳アプリも活用し最大83言語の対応。 ＜その他の取組み＞ ①【未就学・ダイレクト向け日本語・学習支援】では、外国にルーツを持つ子どもを対象に、日常生活や高校進学に必要な日本語と教科の学習支援をする「子どもひろば」を実施。あわせて、ダイレクト対象の日本語教室を実施し、ダイレクトの高校進学に向け、より効果的にサポートを行った。（※ダイレクト・・母国で中学校を卒業して来日した子ども） ②子ども青少年局と連携し、多言語（日・英・中・韓国・越・比）で、「令和4年度子育て世帯生活支援特別給付金」の案内をHPに掲載した。	法律相談、ビザ相談においては、オンラインによる相談を可能とした。その他の事業においては、新型コロナウイルスの感染対策や参加者数の調整を行いながら、基本的には対面での開催とした。	49,280千円（経済戦略局） 731千円（市民局）	経済戦略局 市民局	
157	識字推進事業	126		・識字・日本語教室における「教室に参加することで日本語が上達したと考える学習者」の割合	94%	92.00%	95.6%	予定通り進捗						10,933	教育委員会事務局
158	子育て支援施設や児童福祉施設における支援	126		—	—	—	—	—				外国につながる子どもの保護や等とのコミュニケーションを円滑に行う為、子育て支援施設などへ翻訳機の購入支援を行った。		4,482	子ども青少年局

基本方向2 安心してこどもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響 『一部予定通り進捗』の場合の理由						

〔4〕多様なライフスタイルで子育てできる保育サービス等の充実

施策1 仕事と出産・子育てを共に選択できる保育サービス等を充実します 【重点施策9 待機児童を含む利用保留児童の解消】

159	保育所等の整備 〔重〕	128	○	・量の見込み／利用実績（＋保留児童数） ・確保の内容／確保実績	57,361人 64,738人	60,047人 71,798人	57,278人 65,309人	予定通り進捗しな かった		少子化による就学前児童 数の減少等の影響によ り、量の見込み及び利用 実績が当初の計画を下 回ったため。なお、令和 5年度以降の量の見込み 及び確保の内容について 、計画の見直しを行っ た。				2,737,035	こども青少年局
				①入所児童数（各年4月1日） ②待機児童数	①55,000人 ②14人	① ― ②0人	①55,189人 ②4人	予定通り進捗しな かった		集団保育が困難な児童の 受け入れができなかったこ と等により目標達成に至 らなかった。					こども青少年局
160	保育人材の確保対 策〔重〕	129	○	・保育人材確保事業等により、当該年度 中に採用が必要となる保育士の確保数	補助事業実績数 延べ3,683人	3,433人	補助事業実績数 延べ3,673人	予定通り進捗						3,094,821	こども青少年局
161	子育て支援員研修 〔重〕	129	○	・研修実施により、「子育て支援員」の 修了者となる割合（募集計画人数に対す る修了者数の割合）	82.6%	81.2%以上	89.3% (643／720人)	予定通り進捗					研修受講者が密にならない よう大まめの会場を確 保し、研修時の感染対策 を徹底することにより、 コロナの影響を受けず予 定通り事業を実施するこ とができた。	22,447	こども青少年局
				・受講募集人数	595人	―	643人	―						こども青少年局	
162	多様な主体の参入 促進事業〔重〕	130	○	・対象施設への訪問実施率	100%	100%	100% (44／44か所)	予定通り進捗						12,625	こども青少年局
				・巡回箇所数	56か所	―	44か所	―						こども青少年局	
163	延長保育事業（時 間外保育事業）	130		・年間利用者数（実利用数）	13,874人<利用> （内訳） 民間：13,185人 公公：360人 公民：329人 *延長保育（自主事 業）含む。 20,715人<確保>	17,251人<量の見込み> 20,789人<確保の内容>	【令和4年度実績内 訳】 （後日、国調査結果 が確定次第報告） 民間：●人 公公：●人 公民：●人 *延長保育（自主事 業）含む。	実績については、厚生労働省の調査(毎年8月頃)に合わせて、各施設に照会予定						531,646	こども青少年局
164	一時預かり事業 （幼稚園在園児対 象）	130		①実施園数（市立幼稚園） ②実施園数（私立幼稚園等） ③延べ利用者数	①全52園 ②103園 ③903,469人日	① ― ② ― ③1,100,777人日	①全52園 ②108園 ③860,950人日	予定通り進捗しな かった	○	感染をさけるための利用 控え、園児の感染による 休みなどにより、利用者 数が減少した。				①81,503 ②203,477	こども青少年局
165	休日保育支援事業	130		・実施施設数	実施箇所数 22箇所 （うち2か所休止）	1区1か所	実施箇所数 22箇所（うち2箇所 休止）	予定通り進捗しな かった	○	新型コロナウイルス感染 症の影響もあり、担当職 員の確保が難しく、新規 開設する施設がなかつ た。また、担当職員の退 職等が相次ぎ、2園が人 員不足により休止せざる を得なくなった。				1,274	こども青少年局
166	「女性活躍リー ディングカンパ ニー」認証事業	131		①勤奨件数 ②認証件数（チャレンジ企業除く）	①勤奨件数 1,586件 ②認証企業（チャレ ンジ企業除く） 94件	①勤奨件数 1,500件以上 ②認証件数（チャレ ンジ企業除く） 80件以上	①勤奨件数 1,588件 ②認証件数（チャレ ンジ企業除く） 112件	予定通り進捗					オンライン等による相 談・アドバイスを実施	20,983	市民局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由	コロナの影響					
167	大阪市立男女共同参画センターにおける講座の実施	131		・講座・セミナー参加者数	1,238人	1,400人	1,817人	予定通り進捗					・オンデマンドセミナーとして動画を制作し、クレオ大阪公式Youtubeチャンネルで公開を行った。 ・オンラインセミナー、ハイブリッド型セミナー（オンライン・会場併用）を開催した。	指定管理代行料の一部	市民局

施策2 保育の質を向上します 【重点施策10 安全・安心な保育の提供】

168	保育所等の事故防止の取組強化事業〔重〕	132	○	・対象施設への訪問実施率	100%	100%	100% (1,208／1,208か所)	予定通り進捗					巡回前に訪問予定施設のコロナ発生状況を課内のデータで毎朝確認し、発生していない時に訪問するよう工夫したことで、全ての施設を巡回することができた。	32,548	こども青少年局		
				・訪問施設数	1,201か所	1,208か所	1,208か所	予定通り進捗							こども青少年局		
169	保育サービス第三者評価受審促進事業〔重〕	133	○	・市内の保育所等で福祉サービス第三者評価を受審した施設・事業所の数	23施設	53施設	33施設	予定通り進捗しなかった	○	令和4年度より保育士働き方改革推進事業の対象を拡充し、第三者評価受審施設数の増加を見込んでいたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、第三者評価を受審する計画を見送る施設が多く、感染症対策と平行して実施することが難しい状況であった。				3,259	こども青少年局		
170	認可外保育施設の指導監督強化〔重〕	133	○	・すべての認可外保育施設に対して立入調査を実施し、認可外保育施設指導監督基準による指導を行ったうえ、証明書発行を行う施設数の割合	86.6%	77.9%以上	89.2%	予定通り進捗						16,224	こども青少年局		
				・施設数	418施設	519施設	519施設	予定通り進捗							こども青少年局		
171	低年齢児保育実施保育所看護師等雇用経費助成事業〔重〕	133	○	・乳児9人以上入所施設看護師等配置（補助）率	68%	「123-2病児・病後児保育事業（体調不良児対応型）」に再構築して実施											こども青少年局
				・対象施設数	157か所										こども青少年局		
172	アレルギー対応等栄養士配置事業〔重〕	134	○	・加配栄養士配置率	60%	54%	61%	予定通り進捗						201,260	こども青少年局		
				・対象施設数	300か所	—	303か所	—							こども青少年局		
173	地域型保育事業連携支援事業〔重〕	134	○	・連携施設の確保の割合	70.4% (223事業所中157事業所)	— (100%＜令和6年度末＞)	73.0% (226事業所中165事業所)	—				連携施設としての合意は、幼稚園・認定こども園・認可保育所には負担やリスクがあるため、なかなか合意にまで至りにくいものの、本事業や連携支援制度の周知を今まで以上に強化してきた。とりわけ幼稚園については、幼児教育・保育の無償化がはじまって以降、新2号による需要も見込まれることから、集中的にとりくんだことで複数園において3項目合意につながるなど徐々にではあるが、連携合意に至る施設数は増加している。		1,542	こども青少年局		

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	コロナの影響	『予定通り進捗しなかった』『一部予定通り進捗』の場合の理由					
174	お散歩時の安全対策推進事業（重）	135	○	・保育所等を利用する子どもの園外活動時の交通事故発生数	0件	0件	0件	予定通り進捗						107,403	こども青少年局
175	施設指導監査の強化支援事業	135		・対象施設数（施設監査）	567施設	707施設	707施設	予定通り進捗			令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により一部の施設において実地監査を中止したため。	適切な施設監査を実施するため、次の通り業務委託契約を利用している。 ・公認会計士 監査同行業務 14回 研修 3回 36時間 相談業務 2回 29時間 ・弁護士 法律相談 2回 5時間		30,304	こども青少年局

（5）こどもや子育て家庭が安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

施策1 こどもや子育て家庭にとって安全・安心で快適な生活環境を整備します

176	新婚・子育て世帯向け分譲住宅購入融資利子補給制度	137		・実施件数	2,813件	2,900件	2,211件	予定通り進捗しなかった		国の補助制度である「こども未来住宅支援事業」がR3.11に、「こどもエコすまい支援事業」がR4.11に閣議決定された。本事業とは併用ができず、対象者が流れたと考えられる。				1,325,463	都市整備局
177	子育て世帯等向け民間賃貸住宅改修促進事業	137		・実施件数	54戸（43件）	50戸	61戸（47件）	予定通り進捗			例年継続して実施している各事業者団体に対する普及啓発の取組の成果等により、制度が広く浸透されてきたと考えられる。		対面での窓口対応を極力減らすため、メールでの申請内容の確認や、郵送による申請の受付を行った。	41,923	都市整備局
178	子育て安心マンション認定制度	137		・実施件数	0件	1件	1件	予定通り進捗				事業者への制度説明の実施やリーフレットの配布等により、事業者、市民等に対して認定制度の周知を行った。		74	都市整備局
179	市営住宅への優先入居の実施	137		・実施戸数	1,145戸	1,045戸	1,112戸	予定通り進捗						—	都市整備局
180	民間住宅への入居支援	138		・セーフティネット住宅登録累計戸数	6,385戸	—	6,843戸	—				区役所、市関係施設に制度周知リーフレットを配架配布し、市民に向けて周知を図った。		—	都市整備局
181	住区基幹公園の整備	138		・住区基幹公園の新設及び拡張数	3公園	2公園	1公園	予定通り進捗しなかった		城北公園は関係機関との調整等により工期を延伸したため				31,440	建設局
182	通学路等の交通安全対策の推進	138		・未就学児の移動経路などにおける交通安全対策実施箇所	約470箇所	約700箇所	約170箇所	予定通り進捗しなかった		・契約不調の影響により、一部の交差点対策が次年度の完成となった。 ・また、現場を詳細に調査した結果、約270箇所対策が不要となった。	・地下埋設物や沿道の利用状況などの調査に日時を要したため	・「大阪市通学路安全プログラム」に基づく通学路の合同点検 ・前記の合同点検で抽出された危険箇所等の交通安全対策		道路事業費の一部	建設局
183	公園の遊具等の点検	138		—	—	—	—	—				市内全域の公園において遊具等の点検を、日常点検と定期点検にて実施		—	建設局

基本方向2 安心して子どもを生み、育てられるよう支援する仕組みや環境を充実します

事業 番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画 掲載 ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で 工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響	『一部予定通り進捗』の 場合の理由					
184	防火防災の体験型 研修の充実強化	139		・研修の受講者人数（実施回数）	459名（25回）	—	1,215名（57回）	—			コロナの感染拡大が減少 したことにより実践型防 災研修の需要が高まっ た。	実災害に即した体験がで きる実践型防災研修とし ての「市民消防教室」 「消防体験教室」を重点 的に実施。 社会的影響力の大きな火 災（此花区倉庫火災、北 新地ビル火災）の発生に 伴い、事業所に特化した 研修を充実させた。		10,456	消防局
185	自主防災まちづく りの推進	139		—	—	—	—	—				各区で自主防災組織を対 象とした訓練等を行って おり、今後も取組みの推 進を図っていく。	・感染防止対策のため に、土曜授業（防災講 座）用動画を作成し、啓 発を行った。 ・小学生を対象に、オン ライン（Teams）を活用し た防災研修を実施した。	49,296	危機管理室 各区役所

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由 コロナの影響					

(1) 虐待の被害から子ども・青少年を守る仕組みの充実

施策1 児童虐待の発生を予防し、早期に発見・対応する仕組みを充実します 【重点施策11 児童虐待の発生を予防し、早期に発見・対応する仕組みづくり】

186	児童虐待防止オレンジリボンキャンペーン〔重〕	143	○	・児童虐待防止啓発活動への連携協力民間団体・企業数	29団体	—	33団体	—				11月の児童虐待防止月間を中心にオレンジリボンキャンペーンと位置付け、プロスボーラチームとの連携による啓発や、啓発チラシの配付、ポスターの掲示等により、地域住民やこどもに関わる関係機関など、広く市民に対して児童虐待防止に向けた啓発活動を実施。	2,310	こども青少年局
187	子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業〔重〕	143	○	・区要保護児童対策地域協議会において、実務者会議を年間12回以上開催し、支援内容の検討を行い支援に繋げることができている区の割合	100%	100%	100%	予定通り進捗					12,966	こども青少年局
188	児童虐待防止対策研修事業〔重〕	144	○	・研修受講者のうち修了者の割合 ①児童福祉司任用前講習会 ②要保護児童対策調整機関の調整担当者研修	①35.0% ②57.7%	①②50%	①43% ②42%	予定通り進捗しなかった		緊急対応や業務繁忙等で一部の講義の受講ができず、全過程修了が困難となった受講者が生じたためと思われる。			4,162	こども青少年局
				・研修対象者のうち受講者の割合 ①児童福祉司任用前講習会 ②要保護児童対策調整機関の調整担当者研修	①79% ②95%	①②80%	①85% ②92%	予定通り進捗				マスクの着用、換気に加え、参加者同士の距離をとるなど3密対策等を実施。		こども青少年局
189	養育支援訪問事業（子ども家庭支援員による家庭訪問支援事業・エンゼルスサポーター派遣事業）〔重〕	144	○	・子ども家庭支援員年間派遣対象件数	202件（延べ527回）	388件	221件（延べ582回）	予定通り進捗しなかった	○	出生数の減少やコロナにより訪問が難しくなるなど利用が減少する要因はあるものの、本事業は利用者ニーズではなく、行政として養育支援が必要と判断した家庭に派遣を行うものであり、養育支援が必要な家庭の数は年度によって一定していないため			9,916	こども青少年局
			○	・エンゼルスサポーター年間派遣件数	191件（延べ1622回）	243件	179件（延べ1411回）	予定通り進捗しなかった	○					こども青少年局
190	未就園児等全戸訪問事業〔重〕	144	○	・安全確認が必要な把握対象児童の状況把握の割合	100%	95%	100%	予定通り進捗					8,142	こども青少年局
191	児童虐待ホットライン等の虐待通告・安全確認事業〔重〕	145	○	・安全確認後、虐待対応進捗管理会議を行い、通告があった児童に対して必要な支援が決定できた割合	100%	100%	100%	予定通り進捗					27,789	こども青少年局
				・受電件数	4,351件	—	4,342件	—						こども青少年局
192	児童虐待防止関係機関連携強化事業〔重〕	145	○	・保育・幼児教育センターが実施している研修のアンケートにおいて、保育施設等の専門職がリーフレットの内容を知っていると答えた割合	96.4%	80%	100.0%	予定通り進捗					347	こども青少年局
			○	・専門研修受講後の区役所職員へのアンケートにおいて、保護者に対して効果的な支援等につなげるのに「役に立つ」又は「概ね役に立つ」という回答の割合	100%	70%	94.7%	予定通り進捗						こども青少年局

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由	コロナの影響					
193	教職員研修	146		児童虐待防止と早期発見・早期対応、育児困難の状況にある保護者への支援のあり方等に関する教職員研修を、教育センター及び市内4ブロックの地域研修において実施	教育センター研修：277名 地域研修：実施なし	—	教職員研修：348名 地域研修：124名	—					教職員研修において、同じ研修を2日間にかけて実施した。	—	教育委員会事務局
194	大阪市児童福祉審議会児童虐待事例検証部会	146		—	—	—	—	—				令和4年度・第1部会 事例検証部会開催：3回		676	こども青少年局
195	こども相談センターの法的対応機能強化事業	146		①相談援助件数 ②弁護士延べ活動人員	①34件 ②57人	—	①8件 ②13人	—			前年度に比べ措置件数が減少したことに加え、児童福祉法28条申立や親権停止等の法的対応を新たに必要とするケースが少なかったことによる減。			2,111	こども青少年局
196	こども相談センターのスーパーバイズ・権利擁護機能強化事業	146		①グループワーク ②グループスタッフのスーパーバイズ ③研修	①こども・保護者各44回実施（延べ参加人数179人） ②5回 ③職員2回、スタッフ3回	①こども・保護者各45回実施 ②5回 ③職員2回、スタッフ3回	①こども・保護者各24回実施 ②5回 ③職員2回、スタッフ3回	一部予定通り進捗	○	①について、グループワーク休止状況が続いたため。 ②③については予定通り実施した。	スーパーバイズを受けながら新規参入ケースについて継続検討したものの、グループワークに参加するケースが集まらず休止後の再開に至らなかった。	被害事実確認面接研修＜令和4年度実績＞職員2回（オンライン形式）		711	こども青少年局
197	一時保護所	147		・一時保護延件数	39,073人日	—	33,096人日	—						—	こども青少年局
198	第三者専門家チームの設置	147		・いじめ対策チーム派遣数	（実績なし）	—	（実績なし）	—				・学校では解決が困難となるおそれのある事案に、早期に対応することを目指す。		256	教育委員会事務局
199	SNSを活用した児童虐待相談事業	147		・相談実施後のアンケートにおいて、「また相談したい」、「悩みや不安があれば相談したい」と回答した方の割合	81%	70%以上	85%	予定通り進捗						19,822	こども青少年局
200	産前・産後母子支援事業	147		相談を受け付けた特定妊婦等のニーズを把握し、必要な支援を行った割合	100%	100%	100%	予定通り進捗						17,642	こども青少年局

施策2 虐待を受けたこどもへの支援の仕組みを充実します

201	家族再統合支援事業	148		①グループカウンセリング数 ②個別カウンセリング数 ③参加者により変化(改善)がみられる割合	①85回 ②441回 ③73.3%	①80回 ②553回 ③71%以上	①28回 ②413回 ③71.0%	一部予定通り進捗	○	新型コロナウイルスの影響により、利用者の欠席があったため。	カウンセリング実施者や利用者およびその家族の体調不良によるキャンセルが増加していた。		マスク着用や体温測定等、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで事業を実施。	20,105	こども青少年局
202	こども相談センターの医療的機能強化事業	148		①鑑定件数 ②こども虐待医療検討会の開催回数	①2件 ②1回	①9件 ②2回	①鑑定2件 医療相談0件 ②開催回数2回	予定通り進捗しなかった		①該当する件数が少なかった	①該当する件数が少なかった	②コロナ禍ではあったがWEBを活用し、予定どおり2回開催できた	②ハイブリッド開催とした	80	こども青少年局

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況		実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由 コロナの影響					

（2）社会的養育を必要とするこども・青少年の養育環境の充実

施策1 里親・ファミリーホームへの委託等を推進します 【重点施策12 里親・ファミリーホームへの委託等の家庭的な養育の推進】

203	里親子への一貫した支援体制の構築・里親委託推進事業〔重〕	151	○	・里親委託率	20.7%	23.3%	20.9%	予定通り進捗しなかった		新規登録里親数や登録里親数は増えているが、里親委託方針となった児童について、委託先里親を探す際に、予定される委託期間や打診時期の里親家庭の既受託状況、家庭状況、児童・里親双方の特性などの要素により、マッチング困難となるケースがあるため			147,930	こども青少年局
				①新規登録里親数 ②登録里親数 ③里親等委託児童数	①27組 ②192組 ③226人	①22組 ②218組 ③275人	①36組 ②232組 ③223人	一部予定通り進捗		①②里親相談会においては開催回数増加やコロナ禍で受け入れが不可となっていた施設実習が感染対策を十分に講じつつ、少しずつ可能となったことによる	・登録前研修については、コロナ禍でも中止するのではなく、1回の受講人数を減らして実施した。 ・コロナ禍で受け入れが不可となっていた施設実習において、感染対策を十分に講じながらの実習受け入れの打診を進めた。			こども青少年局
204	小規模住居型児童養育事業（ファミリーホーム）〔重〕	152	○	・里親委託率	(203と同じ)	(203と同じ)	(203と同じ)	—					438,202	こども青少年局
				・ファミリーホームの箇所数	市管：23箇所	市管：23か所 〈令和6年度末〉	市管：24か所	予定通り進捗						こども青少年局
205	児童福祉施設の小規模化〔重〕	152	○	・小規模グループケア・地域小規模児童養護施設の割合	39.4%	—	43.2%	—					6,824,699	こども青少年局
				①小規模グループケア箇所数 ②分園型小規模グループケア箇所数 ③地域小規模児童養護施設箇所数	①43箇所 ②6箇所 ③18箇所	①47箇所 ②6箇所 ③20箇所	①47箇所 ②6箇所 ③20箇所	予定通り進捗						こども青少年局
206	児童心理治療施設	152		・児童心理治療施設箇所数	市管：3箇所	市管：3箇所	市管：3箇所	予定通り進捗					642,415	こども青少年局

施策2 こどもの権利擁護の取組を推進します

207	児童養護施設等職員に対する研修	153		①母子生活支援施設箇所数 ②児童養護施設箇所数 ③児童自立支援施設箇所数 ④乳児院箇所数 ⑤児童心理治療施設箇所数 ⑥自立援助ホーム箇所数 ⑦ファミリーホーム箇所数	①1か所 ②— ③— ④— ⑤1か所 ⑥— ⑦—	—	①— ②6か所 ③— ④— ⑤2か所 ⑥— ⑦—	—		新型コロナウイルス感染拡大防止により実施されていなかった研修が、徐々に実施されるようになった影響等により実績に増減が生じている。	・基幹的職員研修の実施 ・職員の確保及び資質向上事業補助金による研修参加の補助の実施		2,158	こども青少年局
208	被措置児童等虐待予防への取組	154		—	—	—	—	—			被措置児童虐待等を予防するため「権利ノート」を作成配付するなど被措置児童の権利擁護を図るための取り組みを行い、また国の被措置児童等虐待対応ガイドラインの改正に伴って、児童福祉施設や里親からも意見聴取をおこないながら、本市被措置児童等虐待対応マニュアルを改正。		996	こども青少年局
209	未成年後見人支援事業	154		①補助件数 ②未成年後見人確保割合	①8件 ②100%	①11件 ②100%	①5件 ②100%	一部予定通り進捗		未成年後見人の選定を必要とする児童が少なかったため。			1,089	こども青少年局

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業番号	事業名 〔〔重〕は重点施策として実施する事業〕	計画掲載ページ	重点施策指標	実績の指標となる項目 (略称：実績項目)	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 (4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因)	実績項目の補足説明、実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 (単位：千円)	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の場合の理由	コロナの影響					

施策3 家庭支援及びこども・青少年の自立支援の仕組みを充実します

210	児童家庭支援センターの役割検討	156		①児童家庭支援センター箇所数 ②相談対応件数	①1か所 ②2358件	①1か所 ②—	①1か所 ②3041件	予定通り進捗						13,867	こども青少年局
211	要保護児童対策地域協議会の機能強化	156		①各区子育て支援室における職員に対し研修等を実施 ②各区要保護児童対策地域協議会へのS V派遣を実施	①11回 ②382回	—	①13回 ②422回	—						12,966	こども青少年局
212	施設退所児童等に対する指導や支援	157		①就労人数 ②就労実績 ③身元保証人確保対策事業利用者数	①41人 ②95.3% ③41人	—	①32人 ②66.6% ③42人	—						9,802	こども青少年局
213	児童自立生活援助事業（自立援助ホーム）	157		・自立援助ホームの箇所数	5箇所	—	5箇所	—						133,457	こども青少年局
214	施設における自立支援事業	157		(令和2年度より「216施設退所者等自立支援事業」に統合)	—	—	—	—						—	こども青少年局
215	母子生活支援施設退所児童支援ネットワーク事業	157		・母子生活支援施設退所児童支援ネットワーク事業 実施か所数	4か所	4か所	4か所	予定通り進捗						36,564	こども青少年局
216	施設退所者等自立支援事業	158		・施設退所児童自立生活支援事業 実施か所数	(実施なし)	—	(実施なし)	—						—	こども青少年局
217	社会的養護継続支援事業	158		・事業利用人数	15人	—	14人	—				措置延長を行った20歳到達後の者のうち、自立のための支援を継続して行うことが適当な場合について、原則22歳の年度末まで、個々の状況に応じて必要な支援を実施		14,784	こども青少年局
218	就学者自立生活援助事業	158		・事業利用人数	2人	—	0人	—			退学により社会的養護継続支援事業に切り替わったため	大学等に就学中であり、満20歳に達した日から満22歳に達する日の属する年度の末日までの間にある者に対し、児童自立生活援助を実施		0	こども青少年局
219	身元保証人確保対策事業	158		・事業利用人数	41人	—	42人	—						563	こども青少年局

(3) こどもや青少年が抱える課題を解決する仕組みの充実

施策1 こどもの貧困対策を推進します 【重点施策13 こどもの貧困対策の推進】

220	大阪市こどもサポートネット 〔重〕	160	○	・スクリーニングで判明した課題のある児童生徒とその世帯を支援制度につなぐなど適切な対応を行った割合	50.3%	80.0%	94.8%	予定通り進捗			基礎的な知識の習得のために視聴型研修を実施するとともに、事例検討や意見交換の中で好事例の対応を共有することにより推進員のスキルアップを行うことができた。また、月報への活動実績の反映基準について標準化を図ったことにより、正確な実績値へ更新された。	大阪市こどもサポートネットにおけるコーディネーターの配置が教育分野と関係機関等による福祉分野の支援のつなぎに役立ったとする学校の割合：92.8%	新型コロナウイルス感染症拡大を理由に、家庭訪問等アウトリーチを拒む世帯等に対し、安全体制を確保徹底していることの周知等を行ったうえで、家庭訪問を提案したり、学校への来校時に面談を設定するなど、家庭への負担をかけないよう配慮を行った。	213,315	こども青少年局
-----	----------------------	-----	---	---	-------	-------	-------	--------	--	--	--	--	--	---------	---------

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 コロナの影響	『一部予定通り進捗』の 場合の理由					
221	こども支援ネットワーク事業〔重〕	160	○	・大阪市が把握している活動団体のうち、加入要件を満たしている活動団体のネットワーク登録団体の加入率	90.0%	90%	98.5%	予定通り進捗			R3よりこどもの居場所の利用者に対する傷害保険についても補助対象としたことにより、活動団体の加入が促進されたことに加えて、コロナ禍における配食等の実施形態の多様化により、取り組みが広がった。		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、寄附金を活用し、こどもの居場所に対して空気清浄機、衛生用品などを提供	14,149	こども青少年局

施策2 いじめや問題行動の未然防止、早期発見のための仕組みを充実します 【重点施策14 いじめへの対応】

222	いじめ・問題行動への対応〔重〕	162	○	・小・中学校において、「学校安心ルール」をいじめ等問題行動の対応に活用している割合	100%	100%	100%	予定通り進捗						248,343	教育委員会事務局
				・生活指導支援員配置校数 ・SNS相談の実施日数	【生活指導支援員】 小学校：80校 中学校：45校 ※各校1名生活指導支援員配置 【SNS相談】年間70日	【生活指導支援員】 小学校：90校 中学校：43校 ※各校1名生活指導支援員配置 【SNS相談】年間69日	【生活指導支援員】 小学校：90校 中学校：43校 ※各校1名生活指導支援員配置 【SNS相談】年間69日	予定通り進捗							教育委員会事務局
223	大阪市版スクールロイヤー事業	162		・効果的であったと回答した学校の割合	90.0%	80%以上	95.6%	予定通り進捗						6,711	教育委員会事務局
224	スクールカウンセラー	163		①スクールカウンセラー数 （全中学校配置人数、小学校派遣人数） ②相談件数 ③相談回数	①235人 （中学校：133人 小学校：102人） ②5,765件 ③45,045件	①264人 （中学校：134人 小学校：130人） ②4,700件 ③32,000回	①264人 （中学校：134人 小学校：130人） ②9,068件 ③44,732回	予定通り進捗			スクールカウンセラーの活動やスクールカウンセラーに家庭のことも相談できることを周知し、新規相談が増えたため。		相談室の換気や消毒などの感染防止対策を徹底した。	314,840	こども青少年局
225	スクールソーシャルワーカーの活用	163		①スクールソーシャルワーカーの配置 ②役立ったとする学校の割合	①こどもサポートネット全市展開により、スクールソーシャルワーカーを全区配置（対応件数：10,345件） ②91.7%	①こどもサポートネット全市展開により、スクールソーシャルワーカーを全区配置 ②80%以上	①こどもサポートネット全市展開により、スクールソーシャルワーカーを全区配置（対応件数：10,851件） ②92.8%	予定通り進捗						221,562	教育委員会事務局
226	児童自立支援施設	164		①箇所数 ②定員	①市管：1箇所 ②124人	—	①市管：1箇所 ②124人	—						277,040	こども青少年局
227	生活指導サポートセンター（個別指導教室）の設置	164		学校支援訪問回数	355回	—	356回	—						18,920	教育委員会事務局

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画掲載ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和3年度実績	令和4年度目標・予定	令和4年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （4年度実績が3年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組等	コロナの影響が続く中で工夫して取り組んだこと等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しなかった ・一部予定通り進捗	進捗状況 『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由	コロナの影響					

施策3 不登校等の問題に適切に対応する仕組みを充実します 【重点施策15 不登校への対応】

228	不登校などの課題 への対応〔重〕	166	○	・不登校や虐待に関する児童生徒の状況を適切に把握するために児童生徒理解・教育支援シートを活用した割合	100%	100%	100%	予定通り進捗						60,124	教育委員会事務局
				・年度を重ねるごとに教育支援センターを増設し、令和5年度に適応指導教室の1か所を不登校特例校として認証を受ける。	・教育支援センターを2箇所開設：桃谷・新大阪（3か所の登録者数計186名）	教育支援センター3箇所（花園・桃谷・新大阪）の不登校児童生徒の受入	教育支援センター3箇所（花園・桃谷・新大阪）の登録者数計318名	予定通り進捗				・教育支援センターについては、3か所の運営により、通所に係る交通面、受入人数等の一定のニーズを満たしているため、増設は当面見送る。 ・不登校特例校については、令和6年度に開校予定。			教育委員会事務局
229	教育相談事業 〔重〕	166	○	・不登校児童通所事業登録者の社会参加をした割合	63.8%	60%	58.6%	予定通り進捗しなかった	○	コロナ禍でひきこもり状態が長期化した児童が増え、通所習慣が定着せず、社会参加につながらない生徒が増えたため			各通所事業責任者の連絡会議で、コロナの影響と考えられる子どもの変化及び通所での対応策を話し合った。	199,465	こども青少年局
				保護者や学校園等に対し、支援方法等について助言等を行ったことにより相談が終結する割合	85%	85%	81.4%	予定通り進捗しなかった		教育相談での助言等による終結前に、スクールカウンセラー等他機関の相談に切替える事例が増加したため			相談室の換気や消毒などの感染防止対策を徹底した。		こども青少年局
230	メンタルフレンド 訪問援助事業	167		①登録者数 ②派遣対象児童 ③派遣回数	（実施なし）	①36人 ②6人 ③116回	実施なし	予定通り進捗しなかった	○	個人宅へボランティアを派遣する活動が基本となっているため、新型コロナウイルス感染症発生拡大防止の観点から活動できない状況が続いている。			ひきこもり・不登校児童等の家庭に、兄・姉世代の大学生等を派遣することによって、児童の孤立状態を緩和し、自主性や社会性の伸長を図る。 ボランティアが活動できない間は、児童福祉司による訪問等により対応している。	0	こども青少年局

施策4 こども・青少年が犯罪の被害に遭わないための環境をつくります

231	市職員によるあんしんパトロール事業	168		・あんしんパトロール取組車両数	2,151台	—	2,070台	—						0	市民局
232	「こども110番の家」事業	168		・こども110番の家設置箇所数	29,341か所	—	26,684か所	—				動くこども110番保有公用車数37台 協力公用車数189台		—	各区役所 こども青少年局

施策5 社会的自立に困難を抱える若者を支援する取組を充実します 【重点施策16 若者への自立支援】

233	若者自立支援事業 〔重〕	171	○	・コミュニケーション講座等ワーク ショップの参加者のうち、自信を持てる ようになった人の割合	88%	80%	96.5%	予定通り進捗					オンラインによる面接や セミナーを実施した。	35,916	こども青少年局
			・事業参加・相談室来室者数	延べ24,566人	延べ14,000人	延べ29,121人	予定通り進捗				内訳は、若者14,780人、 保護者7,336人、関係者 7,005人（いずれも延べ 人数）	こども青少年局			
234	生活困窮者自立支 援事業	171		・自立相談支援事業：新規相談受付件数 ・子ども自立アシスト事業：支援対象者 数	・自立相談支援事業：15,471件 ・子ども自立アシスト事業：349件	・自立相談支援事業：9,000件以上 ・子ども自立アシスト事業：—	・自立相談支援事業：13,547件 ・子ども自立アシスト事業：377件	予定通り進捗			・自立相談支援事業：令和3年度に比べ、令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大が落ち着いたため、相談件数が減少している。 ・子ども自立アシスト事業：子どもサポートネット事業との連携強化や、関係機関への周知等により、実績が増加している。		645,115 （自立相談支援事業） 82,427 （子ども自立アシスト事業）	福祉局	

基本方向3 こども・青少年や子育て家庭のセーフティネットを確立します

事業 番号	事業名 （〔重〕は重点施策として実施する事業）	計画 掲載 ページ	重点 施策 指標	実績の指標となる項目 （略称：実績項目）	令和３年度実績	令和４年度目標・予定	令和４年度実績	進捗状況			実績数値の増減説明 （４年度実績が３年度実績と比べて大きく増減した場合の要因）	実績項目の補足説明、 実績項目以外の取組 等	コロナの影響が続く中で 工夫して取り組んだこと 等	R4決算額 （単位：千円）	担当局
								・予定通り進捗 ・予定通り進捗しな かった ・一部予定通り進捗	『予定通り進捗しなかった』 『一部予定通り進捗』の 場合の理由						
									コロナ の影響						
235	ひきこもり相談	171		・延べ相談件数	759件	650件	1226件	予定通り進捗			令和４年度に実施したLINE相談件数及びひきこもり専門相談の数も計上したため。電話相談においても、再相談や別事業参加者（家族教室や専門相談等）へのフォロー電話が増加している。	実績項目の内訳 ①電話相談：実件347、延838件 ②面接相談：実18件、延30件 ④専門相談：実23件、延38件 ⑤LINE相談：実135件、延320件 計：実523件、延1226件	面接時は換気徹底とアクリル板を使用し、可能な限り感染予防に努めた。	12,992	健康局
236	養子縁組民間あっせん機関育成事業	172		・実施箇所数	1か所	1か所	2か所	予定通り進捗						0	こども青少年局